O NTT

R V - 2 3 O S E 取扱説明書

このたびは、RV-230SEをご利用いただ きまして、まことにありがとうございます。

- ●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- ●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも 手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品

【廃棄(または譲渡、返却)される場合の留意事項】

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデー タ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を廃棄(または譲渡、返却) される際には、本書をご覧のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去 くださいますようお願いいたします。

- ●本商品に搭載されているソフトウェアの解析(逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジ ニアリングなど)、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。
- Microsoft[®] および Windows[®] は、米国 Microsoft[®] Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows®operating systemです。
- Windows[®] Me は、Microsoft[®] Windows[®] Millennium Edition operating systemの略です。
- Windows[®] 98 は、Microsoft[®] Windows[®] 98 operating systemの略です。
- Windows® 98SE は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating systemの略です。
- Windows[®] XP は、Microsoft[®] Windows[®] XP Home Edition operating system および Microsoft[®] Windows[®] XP Professional operating systemの略です。
- Windows[®] 2000 は、Microsoft[®] Windows[®] 2000 Professional operating systemの略です。
- Macintosh[®]、Mac[®]、Mac[®] OS は、米国 Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国におけ る登録商標です。
- Ethernet[®]は米国 XEROX 社の登録商標です。
- Acrobat[®] Reader, Adobe[®] Reader[®]は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- JavaScript[®]は、米国 Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- VxWorks[®]は米国 Wind River Systems, Inc.の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。
- R マークおよび TM 表記については本文中に明記しません。
- This product includes software developed by the Apache Group for use in the Apache HTTP server project (http://www.apache.org/).
- Copyright (C) 1993-2002 by Darren Reed.

本商品の機能がバージョンアップされ、取扱説明書などの記載事項に変更・追加が生じた場合、 取扱説明書などもバージョンアップされ、当社ホームページに公開されます。 最新の取扱説明書などが必要なときは、これをダウンロードしてください。

http://www.ntt-east.co.jp/ced

ご使用にあたってのお願い

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●本商品(取扱説明書、ソフトウェアを含む)は日本国内向仕様であり、外国の 規格などには準拠しておりません。また海外で保守サービスおよび技術サービ スは行っておりません。国内で使用する場合でも、日本語環境によるご利用の みのサービスとなっております。

This product is designed for only use in Japan and we are not offering maintenance service and technical service of this product in any foreign country. It works properly in only Japanese Operating System.

- ●本商品(ソフトウェア含む)は、外国為替および外国貿易法に定める輸出規制品に該当するため、日本国外に持ち出す場合は同法による許可が必要です。
- ●本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信 などの機会を逸したために生じた損害や、万一本商品に登録された情報内容が 消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任 を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内 容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- ●本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のもとともなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- ●本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- ●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、巻末のお問い合わせ窓口にお申し付けください。
- 取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェア、および外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- ●本商品の電話機ポートは、加入電話の仕様とは完全に一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に作動しないことがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス営業所またはお買い求めになった 販売店でお求めください。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死 亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示して います。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷 害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみ の発生が想定される内容を示しています。
STOP	お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品 の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内 容を示しています。
	お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示し ています。

本書中のマーク説明

お使いになる前に(設置環境)

⚠ 警告

● 本商品やモジュラージャックや電話配線のそばに、水や液体の入った花びん、 植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かない でください。本商品に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、 火災・感電の原因となることがあります。 ● 本商品やモジュラージャックをふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところに 設置および使用しないでください。 火災・感雷の原因となることがあります。 ● 水のかかる場所で使用したり、水に濡らすなどして使用しないでください。 漏雷して、火災・感雷の原因となることがあります。 ● テーブルタップや分岐電源コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線 はしないでください。 火災・感電の原因となることがあります。 ● 本商品を直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばな ど、温度の高いところに置かないでください。 内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。 ● 本商品やモジュラージャックを調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるよう な場所、ほこりの多い場所、鉄粉や有毒ガスが発生する場所、水、油、薬品が かかる恐れがある場所に置かないでください。 火災・感電の原因となることがあります。 ● 本商品に無線 LAN カードを装着してご利用の場合は、医用電気機器の近くでの 設置や使用をしないでください。 手術室、集中治療室、CCU(冠状動脈疾患監視病室)などに持ち込まないでくだ さい。本商品からの電波が、医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作 による事故の原因になります。 ● 本商品に無線 LAN カードを装着してご利用の場合は、自動ドア、火災報知器な どの自動制御機器の近くに置かないでください。 本商品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事 故の原因になります。

お使いのとき

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ(電源プラグ)を 電源コンセントから引き抜いて、煙が出なくなるのを確認して、当社のサービス営業所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にお やめください。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源アダ プタ(電源プラグ)を電源コンセントから引き抜いて、当社のサービス営業所 にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあり ます。
- ●本商品やモジュラージャックや電話配線の内部に水などの液体が入ったり、本商品を濡らした場合は、すぐに電源アダプタ(電源プラグ)を電源コンセントから引き抜いて、当社のサービス営業所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- ●本商品の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ(電源プラグ)を電源コンセントから引き抜いて、当社のサービス営業所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・ 感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ(電源プラグ)を電源コ ンセントから引き抜いて、当社のサービス営業所に修理をご依頼ください。
- AC100Vの家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。 火災・感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタ(電源プラグ)のコードが傷んだ(芯線の露出・断線など)状態のまま使用すると火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ(電源プラグ)を電源コンセントから引き抜いて、当社のサービス営業所に修理をご依頼ください。
- 差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ(電源プラグ)を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。

● 濡れた手で本商品やモジュラージャックや電話配線を操作したり、接続しないでください。
感電の原因となることがあります。

- 電源アダプタ(電源プラグ)は必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。 火災、感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタ(電源プラグ)を電源コンセントに確実に差し込んでください。 電源アダプタ(電源プラグ)の刃に金属などが触れると、火災・感電の原因と なることがあります。
- 電源アダプタ(電源プラグ)を電源コンセントから引き抜くときは、必ず電源 アダプタ(電源プラグ)を持って引き抜いてください。電源アダプタ(電源プ ラグ)のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることが あります。
- 電源アダプタ(電源プラグ)は、ほこりが付着していないことを確認してから 電源コンセントに差し込んでください。ほこりにより火災・感電の原因となる ことがあります。また、半年から1年に1回は、電源アダプタ(電源プラグ) を点検してください。なお点検は当社サービス営業所にご相談ください。
- お近くに雷が発生したときは、電源アダプタ(電源プラグ)を電源コンセントから引き抜いて使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
- ●本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと本商品の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
 - ・じゅうたんやふとんの上に置く。
 - ・テーブルクロスなどをかける。
 - ・毛布やふとんをかぶせる。
 - ・本棚、タンスの中、押入れの中など風通しの悪い場所に置く。
- 電源アダプタ(電源プラグ)のコードには、延長コードは使わないでください。 火災の原因となることがあります。

その他

▲ 警告

- ●本商品や電源アダプタ(電源プラグ)を分解・改造したりしないでください。 火災・感電の原因となることがあります。
- ●本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。キャビネットを開けられた場合は、本商品の保証対象外といたします。 指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス営業所にご連絡 ください。
- 電源アダプタ(電源プラグ)のコードに傷をつけたり、破損したり、加工したり、 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、 重いものをのせたり、加熱したりすると電源アダプタ(電源プラグ)のコードが 破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタ(電源プラグ) のコードが傷んだら、当社のサービス営業所に修理をご依頼ください。
- ●本商品やモジュラージャックに水が入ったりしないよう、また濡らさないよう にご注意ください。 漏電して、火災・感電の原因となることがあります。
- 付属の電源アダプタ(電源プラグ)を本商品以外には使用しないでください。 火災、感電の原因となることがあります。
- ●本商品を移動させる場合は、電源アダプタ(電源プラグ)を電源コンセントから引き抜き、電話機コードを差込口から引き抜いて、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- ●本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。 人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れ があります。

お使いになる前に(設置環境)

 \triangle 注意

● ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。 また、本商品の上にものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、 落下してけがの原因となることがあります。
● 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、 落下してけがの原因となることがあります。
●本商品の設置面以外には3cm以上の空間を作るようにして設置してください。 換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因となることがあります。
● 屋外には設置しないでください。屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。
● 温度 0℃~40℃・湿度 5%~80%で、結露しない場所に設置してください。温度や 湿度がこの範囲を超えたり、結露が発生すると故障の原因となることがあります。
結露とは、空気中の水蒸気が金属板の表面などに付着し、水滴となる現象です。本商品を寒 い場所から急に暖かい場所に移動させたようなときには、本商品内部に結露が発生し、故障 の原因となります。 万一結露した場合は、電源アダプタ(電源プラグ)を電源コンセントから引き 抜いた状態で放置しておき、完全に乾燥してから電源を入れてください。
●本商品は安定した水平なところに縦置きで設置してください。 設置方法については本文中をご参照ください。
●本商品を製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。 本商品が正常に動作しないことがあります。
● 塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所 で使用しないでください。故障の原因となることがあります。
 電気製品、AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)。 ・磁気や電気雑音の影響を受けると、雑音などが大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。 ・テレビ、ラジオなどに近いと、受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。 ・放送局や無線局などが近く、雑音などが大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。

● 硫化水素が発生する場所(温泉地)などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。
 本商品に無線LANカードを装着してご利用の場合は、次のような場所でのご使用は避けてください。 (電波を混信したり、誤動作の原因となることがあります。) ・特定無線局や移動通信体のある屋内 ・電子レンジの近く ・盗難防止装置など2.4GHz周波数帯域を利用している装置のある屋内
●本商品に無線LANカードを装着してご利用の場合で、本商品と無線端末の間に次のような物質があるときは設置場所を変更したり、仕切りを取り払うなどしてください。(電波を通しにくい物質が周囲にあると通信ができなかったり通信速度が遅くなる場合があります。)
・鉄のドア ・スチール棚や仕切り ・コンクリート、石、レンガなどの壁 ・防火ガラス ・アパートなどの上階と下階

お使いのとき

▲ 注意

•	使用中にケーブルを誤って外さないでください。ケーブルに足などを引っ掛けない でください。 使用中にケーブルが抜けると、大切なデータを失うことがあります。
•	機器の電源の入れ直しは、10 秒間以上おいてから行ってください。 本商品が正常に動作しない場合があります。
•	本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意くだ さい。
	こわれてけがの原因となることがあります。
•	こわれてけがの原因となることがあります。 本書に従って接続してください。 間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。
•	こわれてけがの原因となることがあります。 本書に従って接続してください。 間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。 無線LANカードの抜き差しは、本商品の電源を切った状態で行ってください。 本商品および無線LANカードが故障することがあります。

その他

▲ 注意

- 長期間使用されないときは、安全のため必ず電源アダプタ(電源プラグ)を電 源コンセントから引き抜いてください。
- お手入れをするときは、安全のため必ず電源アダプタ(電源プラグ)を電源コ ンセントから引き抜いてください。

日頃のお手入れ

sor お願い

 本商品をベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。本商品の 変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤を つけた布をよくしぼって汚れを拭き取り、柔らかい布でからぶきしてください。
 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。 故障の原因となることがあります。
 本商品に殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴム やビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。 変形、変色の原因となることがあります。

無線 LAN 使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LAN はLAN ケーブルの代わりに電波を利用して、パソコンと無線アクセスポイント間などで通信するため、電波の届く範囲であれば自由にLAN 接続できるという 利点があります。

その反面、電波が届く範囲であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届く ため、セキュリティ関係の設定を行わないと、以下のような問題が発生する可能性 があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ユーザ名(ID)やパスワード
- クレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
- などの行為を行う可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントには、これらの問題に対応するためのセキュリティ(防護策)が用意されています。無線LAN製品のセキュリティ設定を有効にし、製品を使用することで、これらの問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN セキュリティ

無線LAN製品は、購入直後の状態においては、セキュリティ設定が有効に設定されていない場合があります。

問題発生の可能性を少なくするために、無線LAN 製品をご使用になる前に必ず無線 LAN 製品のセキュリティに関するすべての設定を取扱説明書にしたがい設定して ください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティが破られることもあり得ますので、ご理解のうえご使用ください。

セキュリティ設定についてお客様で対処できない場合は、「本商品のお取り扱いに 関するお問い合わせ」((2) p.218)までお問い合わせください。

お客様がセキュリティ設定を有効にしないで使用した場合の問題を充分理解した うえで、お客様ご自身の判断と責任においてセキュリティ設定を有効にしてご使用 ください。

目 次

	ご使	用にあけ	こってのお願い	. 1
	安全	にお使い	いいただくために必ずお読みください	. 2
	無線	LAN 使	用時におけるセキュリティに関するご注意	11
	目汐	र		13
	取扱	説明書の	D読み進めかた	16
	機能	詳細ガイ	イド	17
1	最初	別に確	認する	.23
	1–1	付属品	の確認	23
	1–2	各部の	名前	26
	• -	1-2-1	前面	. 26
		1-2-2	背面	. 28
		1-2-3	上面および側面	. 30
	1–3	周辺環	 境の確認	31
2	本福	商品を	設置する	.33
	0 1	+ + -	。 一、一、一、	00
	Z-1	本間品	の設直	33
		2-1-1	縦直ざ 時世山	. 34 25
	0 0	Z-1-Z 士 去 口	壁) ()	. აე იი
	Z-2	本間品 0 0 1	の伎祝	30
		2-2-1	週吊の伎椀	. 37 20
	າ_າ	2-2-2	いかり电品と一枚电品を併用りる技校	. 39 12
	2-3	 武定力	次の推設	43
3	ひた	かり電言	舌の使いかた	.44
	3–1	ひかり	電話ご利用に関するご注意	44
	3–2	ひかり		46
		3-2-1	発信(電話をかける)	. 46
		3-2-2	着信(電話をうける)	. 48
		3-2-3	ひかり電話で発着信できるサービス	. 49
		3–2–4	ひかり電話で接続できる番号	. 50
		3–2–5	保留	. 52
		3-2-6	内 線	. 53
		3-2-7	内線転送	. 55

	3-2-8 キャッチホン	56
	3-2-9 ナンバー・ディスプレイ	58
	3-2-10 発信者番号通知/非通知	59
	3-2-11 複数チャネル(ダブルチャネル)	60
	3-2-12 追加番号(マイナンバー)	61
	3-2-13 優先着信	62
	3-2-14 指定着信機能	63
3–3	パソコンから設定	64
	3-3-1 ひかり電話共通設定	72
	3-3-2 内線設定	74
	3-3-3 設定例	82
3–4	電話機から設定 1	09
	3-4-1 操作方法1	10
		10
4 1 -	ンダーネット接続の設定をする	١ð
4–1	設定の流れ	18
4–2	ネットワーク設定の確認1	19
4–3	接続の確認1	22
4–4	 本商品の設定	23
4–5	インターネットへ接続 1	29
5 無	線 LAN のご利用について13	30
5-1	設定の流れ. 1	30
5-2	無線 IAN カードの取り付け 1	31
5-3	無線」AN 設定	33
00	5-3-1 接続の確認	133
	5-3-2 SSIDの公開	135
	5-3-3 SSIDの隠蔽	43
	5-3-4 無線 LAN の確認	45
5–4	パソコンに無線 LAN カードを設定する	46
	5-4-1 インストール	46
	5-4-2 インストール完了の確認1	49
	5-4-3 無線アクセスポイントへの無線接続1	52

6 本	商品のバージョンアップ	155
6–1	ファームウェアの更新 6-1-1 ファームウェアの確認 6-1-2 電話機から手動更新 6-1-3 Web 設定画面から自動更新	
	6-1-5 ファイルを指定して手動更新	
7故	障かなと思ったら	170
8 付	録	179
8-1 8-2 8-3 8-4 8-5 8-6	パソコンのネットワーク設定 8-1-1 TCP/IPの設定 8-1-2 IP 設定の確認 無線 IP 端末の設定 本商品の初期化 電源の入れ直し 無線 LAN の暗号化モードと暗号化方式 ひかり電話以外のサービスとの同時利用 8-6-1 「050IP 電話」との同時利用 8-6-2 「フレッツ・セーフティ」との同時利用 8-6-3 「フレッツの IP-VPN サービス」との同時利用 8-6-4 「Mフレッツホスト」との同時利用	
8-7	用語集	206
8-8	索 引	214
8-9	仕様一覧	216
8-10) お問い合わせ窓口	218

取扱説明書の読み進めかた

本商品をご使用していただくには、次のような手順で設定します。



本書以外にも「機能詳細ガイド」を用意しています。(Lever p.17) より高度な機能をご使用になる場合にご参照ください。

機能詳細ガイド

付属のRV-230SE 専用 CD-ROM には、本商品の詳細な機能について説明 した「機能詳細ガイド」が HTML ファイル形式で収録されています。

機能詳細ガイドの見かた

- 1 別冊「最初にお読みください」を参照し、まるごと設定ツールをインストールします。
- 2 Windowsのスタートメニューから[すべてのプログラム] → [RV-230SE まるごと設定ツール] → [機能詳細ガイド]をクリックします。

機能詳細ガイドが起動します。





お知らせ

- ・Windows 2000をご利用の場合は、[プログラム] → [RV-230SEまるごと 設定ツール] → [機能詳細ガイド]をクリックします。
- Windows XP/2000以外のOSをご利用されている場合は、RV-230SE 専用CD-ROMをパソコンにセットし、CD-ROM内の実行ファイルをダブルクリッ クします。

機能詳細ガイド目次

機能詳細ガイドでは以下の項目について説明をしています。

機能詳細説明

電話機能	ひかり電話
ルータ機能	IP マスカレード/NAT
	静的 IP マスカレード/NAT
	静的ルーティング
	パケットフィルタリング
	ステートフル パケット インスペクション
	DHCP サーバ
	UPnP
	DMZ
無線機能	IEEE802.11a 無線 LAN
	IEEE802.11b 無線 LAN
	IEEE802.11g 無線 LAN
	暗号化
	MAC アドレスフィルタリング機能
	無線ネットワーク名(SSID)によるセキュリティ機能
	無線ネットワーク名 (SSID)の隠蔽(ANY 接続拒否)
WAN 側機能	PPPoE ブリッジ
	PPPoE マルチセッション
	複数固定 IP サービス(Unnumbered)
	無通信監視タイマ
	PPP キープアライブ
その他の機能	「機器設定用パスワード」の変更
	時刻設定
	情報表示(装置情報、状態表示)
	ファームウェア更新

設定例

ブリッジモード	ブリッジモード
	フレッツ接続ツール紹介
フレッツ関連	フレッツ・スクウェアで利用するには
	フレッツ・グループアクセス
	端末型払い出しで利用するには
	LAN 型払い出しで利用するには
	フレッツ・コネクトで利用するには
その他の設定例	複数固定 IP サービスを利用するには
	ネットワークゲームをするには
	外部にサーバを公開するには
	Windows XP の場合
	Windows 2000 の場合
	Windows Me/98SE/98の場合
	Mac OS の場合
	ファイアウォールを設定するには
	PPPoE マルチセッション環境でサーバを公開するには

Web 設定

_	起動のしかた
	トップページ
	設定のしかた
基本設定	接続先設定
電話設定	ひかり電話共通設定
	内線設定 内線設定(アナログ端末) 内線設定(IP 端末)
 無線 LAN 関連	無線 LAN 設定
	MAC アドレスフィルタリング
詳細設定	LAN 側設定
	DHCP 固定 IP アドレス配布設定
	パケットフィルタ設定
	静的 IP マスカレード/NAT 設定
	静的ルーティング設定
	高度な設定
メンテナンス	機器設定用パスワードの変更
	時刻設定
	設定値の保存&復元
	設定値の初期化
	ファームウェア更新
	PING テスト
	機器再起動
	UPnP NAT 情報消去

情報	現在の状態
	障害ログ
	通話ログ
	発信履歴
	着信履歴
	内線履歴
	更新ログ
	通信ログ
	セキュリティログ
	UPnP ログ
	UPnP CP テーブル
	UPnP NAT 設定情報
	DHCP テーブル
	無線 LAN 情報

無線機能の使いかた

_	無線 LAN カードの使いかた
	無線セキュリティ
無線 LAN 設定	無線 LAN 設定
	MAC アドレスフィルタリング

ひかり電話の使いかた

_	本商品に接続できる機器について			
	アナログ端末を接続するには			
	IP 端末(音声)を接続するには			
	IP 端末(映像)を接続するには			
電話設定	ひかり電話共通設定			
	内線設定			
	内線設定(アナログ端末)			
	内線設定(IP 端末)			
電話機で設定する	電話機からひかり電話の設定をするには			

その他(付録)

-	用語集

1 最初に確認する

本章では、本商品をご使用していただく前に知っておいていただきたいことを説明し ます。ご使用の前にぜひ目をお通しください。

1-1 付属品の確認

本商品には付属品が同梱されています。ご使用の前に不足品がないかご確認ください。

万一、不足品がありましたら、お問い合わせ窓口(〔② p.218) までご連絡く ださい。



□ RV-230SE 本体 1台



□ 電源アダプタ 1対



ロ スタンド1個



専用CD-ROM 1枚



□ LANケーブル 1本
 (ストレート カテゴリ5、緑/2m)





口 壁掛け用ネジ 2個 (20mm)



1冊

□ 壁掛け用ネジ位置合わせシート 1枚



□ 最初にお読みください □ モジュラーケーブル 2本 (RJ-11、灰/3m、白/30cm)

R - 2 30 5 E R 30 4 C 	() NTT	
		RV-2308E 取扱説明書
		HET HERE REPORTS
		CONTRACTOR CONTRACTOR

□ 取扱説明書(本書) 1冊



□ インラインフィルタ 1個



□ 2分岐モジュラージャック 1個 (短ケーブル付き、白/30cm)

お客様にご用意いただくもの

ひかり電話を利用する





- □ 電話機、ファクスなど □ 電話機コード
- □ 開通のご案内



ホームテレホンの内線電話機やデジタル電話機、G4 FAXなどは接続できません。

インターネットに接続する



□ LANポートを持ったパソコン

□ プロバイダの設定情報

無線 LAN を利用する



□ 専用無線LANカード
 SC-32SE



□ SC-32SE 専用CD-ROM

1-2 各部の名前

1-2-1前面



名称	表示	(色)	機能説明
۵. ۲. ۲. ۲. ۲.	緑	点灯	本商品の電源が入っている。
① 电源フノノ	-	消灯	本商品の電源が切れている。
② アラーム ランプ	赤	点灯	本商品故障(ひかり電話装置部)、また はファームウェアの更新中です。
	_	消灯	ひかり電話装置部が正常です。
③ PPPランプ	緑	点灯	1セッション接続中です。
	橙	点灯	2セッション以上接続中です。
	_	消灯	オフライン状態です。
④ ひかり電話 ランプ	緑	点灯	ひかり電話利用可能です。
		点滅	ひかり電話利用中です。 (発信中/着信中/通話中)
	_	消灯	ひかり電話利用できません。

名称	表示(色)		機能説明
⑤ ACTランプ	緑	点灯	ひかり電話機能、内蔵のルータ機能が 利用できます。
		点滅	ひかり電話機能、内蔵のルータ機能で データ通信中です。
	_	消灯	ひかり電話機能、内蔵のルータ機能が 利用できません。
	43.	点灯	ひかり電話の設定が完了です。
	禄	点滅	ひかり電話の設定中です。
⑥ 登録ランプ	赤	点灯	ひかり電話の設定が失敗です。 (認証エラー)
		点滅	ひかり電話の設定が失敗です。 (その他エラー)
		消灯	ひかり電話設定情報が未設定です。
⑦ 初期状態 ランプ	橙	点灯	工場出荷時の状態、または最新のファー ムウェアのダウンロード中です。
		点滅	IPアドレスが重複中です。
	_	消灯	通常動作中です。
⑧ VDSLランプ	緑	点灯	VDSLリンクが確立しています。
		点滅	VDSL回線の接続動作中、または回線が 未接続です。
	_	消灯	VDSL回線の接続動作停止中、または本商 品が故障しています。
⑨ FAILランプ	赤	点灯	本商品故障(VDSLモデム部)です。
	_	消灯	VDSLモデム部が正常です。



お知らせ

- ・各ランプの状態は、本商品前面からご確認ください。
- ・ひかり電話設定情報および、最新のファームウェアの取得中は、
 アラームランプ(赤色)と初期状態ランプ(橙色)が同時に点灯します。
 このとき、本商品の電源は切らないでください。
- ・本商品の故障、または各種エラーが表示されたときは「7 故障かなと思ったら」(12) p. 170)を参照し、問題を解決してください。

1-2-2背 面



名称	表示	機能説明
 初期化 スイッチ 	初期化	設定を初期化するためのスイッチ です。
② LAN1~4 ポート	LAN1~4	パソコンを接続します。
③ 電話機1~2 ポート	電話機 1~2	アナログ通信機器(電話機、ファクス など)を接続します。 最大2台までの接続が可能です。
④ VDSL LINE ポート	VDSL LINE	VDSL回線と接続します。
⑤ 電源端子	DC IN 12V	専用の電源アダプタ(12V)を接続します。

名称	表示(色)		機能説明
⑥ 10/100BASE-T ランプ	橙	点灯	100Mbpsでリンクが確立しています。
	_	消灯	10Mbpsでリンクが確立しています。
⑦ LINKランプ	緑	点灯	LANリンクが確立しています。
		点滅	データ通信中です。
	_	消灯	LANリンクが未確立です。

初期化スイッチの使用方法については、「8-3 本商品の初期化」(『② p.193) をご参照ください。

1-2-3上面および側面



名 称	機能説明
① 無線LANカードスロット	無線LAN機能をご使用の場合は、オプショ ン品の無線LANカード「SC-32SE」 を装着します。(『② p. 131)
② 壁掛け用フック穴	本商品を壁掛けで使用する際、壁掛け用 ネジを挿入します。(①② p.35)

1-3 周辺環境の確認

本商品をご使用される前に、以下の環境が整っているかご確認ください。

パソコンの準備

●LAN ポート

本商品に接続するパソコンには LAN ポート(100BASE-TX/10BASE-T)が必要 です。ご使用のパソコンに LAN ポートがない場合は、100BASE-TX/10BASE-T 対応の LAN カード/LAN ボードを取り付けてください。

取り付け方法については LAN カード/LAN ボードに付属の説明書をご参照ください。

●ファイアウォールなどの終了

本商品の設定前に、ファイアウォールなどのソフトウェアはすべて終了させ てください。

これらのソフトウェアを起動させたままでいると、本商品の設定ができな かったり、正しく通信ができないことがあります。

本商品の設定終了後に、改めて起動させてください。

●無線 LAN カード

本商品に専用無線LANカード「SC-32SE」を取り付けることで、無線LAN通信ができます。

が お知らせ

無線LAN通信にはWindows XP/2000のみ対応しています。

対応 0S の確認

お知らせ

本商品は下記の OS に対応しています。

- ・Windows XP/2000/Me/98SE/98(日本語版)
- ・Mac OS X/9.x/8.x (日本語版)

無線LAN通信にはWindows XP/2000のみ対応しています。

Web ブラウザの確認

本商品は下記の Web ブラウザに対応しています。

<Windows XP/2000/Me/98SE/98>

・Microsoft Internet Explorer Ver.6.0 SP1 以上(日本語版)

<Macintosh(Mac OS X以降/Mac OS 9.x/Mac OS 8.x)>

・Microsoft Internet Explorer Ver.5.1以上(日本語版)

- がしたい。
 - ・WebブラウザやOSの設定でプロキシサーバを使用する設定になっている場合、 正しく表示や操作ができないことがあります。
 - ・Javaスクリプトの設定を「有効」にしてください。
 - ・ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの「インターネットオプション」 の「接続」で「ダイヤルしない」に設定してください。

まるごと設定ツールの動作環境

- 0S : Windows XP/2000 (SP4)
- ・Web ブラウザ

: Microsoft Internet Explorer Ver. 6.0 SP1 以上(日本語版)

・ハードディスクの空き容量

:30MB 以上を推奨

- ・メモリ:64MB 以上
- ・画面 : 800 × 600 ピクセル以上の領域指定
- ・Windows の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ

- ・まるごと設定ツールはインストール時に、2つ以上のLANボード(無線LANまたは LANカード)が装着されたパソコンの設定はサポートしていません。
- ・設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトウェアは終了 させてください。

動作させたままでいると本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えな い場合があります。本商品の設定が終了したら、いったん終了させたファイア ウォール、ウィルスチェックなどのソフトウェアを元に戻してください。

・フレッツ接続ツールをご利用になっていた場合、フレッツ接続ツールのアンインストールを実施してください。

stop お願い

2 本商品を設置する

本商品を設置し、各周辺機器と接続します。

2-1 本商品の設置

本商品は縦置きと壁掛けに対応しています。

∕₹ 注意 換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因となります。 「お使いになる前に(設置環境)」(() p.7)とあわせてお読みください。

2-1-1 縦置き



1 付属のスタンドを本商品底面に装着します。

スタンドを本商品の前後に合わせ、確実に装着してください。



2 安定した水平な場所に縦置きで設置します。

本商品の設置面以外は 3cm 以上の空間を作るようにしてください。


2-1-2 壁掛け

壁などの垂直面に設置します。

stop お願い

- ・壁掛けに使用する壁に、十分な強度があることをご確認ください。
- ・壁に掛けた状態で、コードを強く引っ張らないでください。
- 本商品の放熱で壁が変色することがあります。壁掛け場所の選定をしてください。

1 壁にフックを用意します。

付属の壁掛け用ネジを使用します。 ネジ間隔は付属の「壁掛け用ネジ位置合わせシート」を参考にしてください。



2 壁のフックに、本商品の壁掛け用フック穴を引っ掛けます。

本商品の設置面以外には 3cm 以上の空間を作るようにしてください。



2-2 本商品の接続

お知らせ

本商品と各周辺機器を接続します。



無線LANカードの取り付けについては「5-2 無線LANカードの取り付け」 (ℂ愛 p. 131) をご参照ください。

接続できる電話機について

本商品と接続できる電話機には以下のような制限があります。 本商品に接続する前に、ご使用の電話機の取扱説明書をご参照ください。

- 本商品の電話機ポートは擬似的にアナログ電話回線と同様の環境を作っています。実際のアナログ電話回線とは異なるので、通信機器によってはひかり電話をご利用できない場合があります。
- ・ホームテレホンの内線電話機やデジタル電話機、G4 FAX などは接続できません。
- ファクスやアナログモデム通信の送受信は、回線の状況によりご利用できない場合があります。
- ・1つの電話機ポートに接続できる電話機は1台のみです。

2-2-1 通常の接続



- 1 本商品のLAN ポートとパソコンをLAN ケーブルで接続します。 付属LAN ケーブル(緑色)を使用します。
- 2 本商品の電話機1~2ポートと電話機を電話機コードで接続します。 現在ご使用中の電話機コード、もしくは市販電話機コードを使用します。
- 3 本商品の VDSL LINE ポートと壁面のモジュラージャックをモジュラー ケーブルで接続します。 付属モジュラーケーブル(灰色)を使用します。
- 4 本商品の電源端子に、電源アダプタのプラグを接続します。
- 5 電源アダプタ本体に、電源アダプタのコードを接続します。
- 6 電源アダプタのコードを、電源コンセントに接続します。

2-2-2ひかり電話と一般電話を併用する接続

VDSL 回線と電話回線を同時に接続

1つのモジュラージャックから、VDSL回線と電話回線(アナログまたは ISDN) を同時に使用します。



- 1 本商品のLAN ポートとパソコンをLAN ケーブルで接続します。 付属LAN ケーブル(緑色)を使用します。
- 2 本商品の電話機1~2ポートと電話機を電話機コードで接続します。 ひかり電話として使用する電話機を接続します。 現在ご使用中の電話機コード、もしくは市販電話機コードを使用します。
- 3 2分岐モジュラージャックと壁面のモジュラージャックをモジュラー ケーブルで接続します。

付属モジュラーケーブル(白色)を使用します。



本商品の VDSL LINE ポートと2分岐モジュラージャックをモジュラー ケーブルで接続します。

付属モジュラーケーブル(灰色)を使用します。

5 2 分岐モジュラージャックとインラインフィルタ(LINE)をモジュラー ケーブルで接続します。

付属モジュラーケーブル(白色)を使用します。 2分岐モジュラージャックの端子は左右共通です。設置環境に合わせて 手順4と挿入位置を変更できます。

6 インラインフィルタ(PHONE)と電話機を電話機コードで接続します。

アナログまたは ISDN 電話として使用する電話機を接続します。 ISDN 電話の場合は ISDN 用 DSU 内蔵 TA が必要です。 現在ご使用中の電話機コード、もしくは市販電話機コードを使用します。

7 本商品の電源端子に、電源アダプタのプラグを接続します。

8 電源アダプタ本体に、電源アダプタのコードを接続します。

9 電源アダプタのコードを、電源コンセントに接続します。

同一回線上の異なるモジュラージャックに接続

同一回線上の異なるモジュラージャックに接続して VDSL 回線と電話回線(ア ナログまたは ISDN)を同時に使用します。



 壁面のモジュラージャックとインラインフィルタ(LINE)をモジュラー ケーブルで接続します。

付属モジュラーケーブル(白色)を使用します。

インラインフィルタ(PHONE)と ISDN 用 DSU 内蔵 TA を電話機コードで接続します。

市販電話機コードを使用します。 アナログ電話の場合は ISDN 用 DSU 内蔵 TA は不要です。 インラインフィルタ(PHONE)と電話機を電話機コードで接続します

ISDN 用 DSU 内蔵 TA と電話機を電話機コードで接続します。
 ISDN 回線電話として使用する電話機を接続します。

現在ご使用中の電話機コード、もしくは市販電話機コードを使用します。

- 本商品のLAN ポートとパソコンをLAN ケーブルで接続します。 付属LAN ケーブル(緑色)を使用します。
- 5 本商品の電話機1~2ポートと電話機を電話機コードで接続します。 ひかり電話として使用する電話機を接続します。 現在ご使用中の電話機コード、もしくは市販電話機コードを使用します。
- 6 本商品の VDSL LINE ポートと壁面のモジュラージャックをモジュラー ケーブルで接続します。

付属モジュラーケーブル(灰色)を使用します。

- 7 本商品の電源端子に、電源アダプタのプラグを接続します。
- 8 電源アダプタ本体に、電源アダプタのコードを接続します。
- 9 電源アダプタのコードを、電源コンセントに接続します。

2-3 設定方法の確認

本商品は付属のRV-230SE 専用 CD-ROM に収録されている「まるごと設 定ツール」を利用して、画面の指示に従いながら、簡単に設定できます。

STOP

- お願い
 - ・まるごと設定ツールのインストール方法については、別冊「最初にお読みくだ さい」をご参照ください。
 - ・CD-ROM をセットしても自動で起動しない場合は、「マイコンピュータ」内の RV-230SE アイコンを開き、「Marugoto.exe」をダブルクリックしてください。
 - ・まるごと設定ツールをインストール済みの場合は、[スタート]→[すべてのプ ログラム] (Windows 2000 の場合は[プログラム])→[RV-230SE まるごと設定 ツール]→[まるごと設定ツール]の順にクリックすると起動します。

RV-230SE まるごと設定ツール	NTT ()
設定を開始する ご利用の環境に合わせて、インターネットへの接続設定、本商品の無 パソコンで無線LANカードを利用するための設定を行います。	線LANでの通信設定、
本ソフトの動作環境について	
终了	まるごと 設定 ツール Version

まるごと設定ツールはWindows XP/2000 に対応しています。

その他の OS でご利用のお客様は、Web ブラウザから本商品にアクセスし、各種 設定ができます。

.)))))

お知らせ

Windows XP/2000 をご利用されている場合でも、Web ブラウザからの設定はできます。

設定方法	対応 0S	設定方法
まるごと設定ツールを 使った設定	Windows XP/2000(SP4)	別冊「最初にお読みくださ い」をご参照ください。
Web ブラウザから設定	Windows XP/2000/Me/ 98SE/98/Mac OS X/9.x/8.x	本書 3~6 章をご参照くだ さい。

3 ひかり電話の使いかた

本章では、ひかり電話を利用した基本的な電話機の使用方法を説明します。

3-1 ひかり電話ご利用に関するご注意

ここではひかり電話をご利用する際に知っておいていただきたいこと、注意していただきたいことを説明します。 ひかり電話をご利用する前にご確認ください。



お知らせ

ひかり電話のいろいろなサービスを利用するための設定方法については、 「3-3-3 設定例」((1)で) p.82)で説明しています。合わせてご参照ください。 (説明例:着信音の鳴り分け、一斉着信など) ご利用の前に

・ひかり電話をご利用する前には、必ず前面のひかり電話ランプが緑 色に点灯していることをご確認ください。



- ・次の場合、ひかり電話はご利用できません。
 - 停電時
 - 本商品の電源が切れている
 - 本商品のひかり電話設定情報の取得に失敗している
 - 本商品が再起動中
- ・ひかり電話通話中に本商品の電源が切れた場合や、再起動中、シス テム更新中は通信が切断されます。
- ・お客様のご利用環境によっては、ひかり電話の通話が安定しない可 能性があります。
- ・ひかり電話でファクスやアナログモデム通信した場合、または音声 ガイドなどで通話中にプッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に 失敗することがあります。
 通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金が かかります。
- ・接続する電話機の ACR などの機能が動作している場合、ひかり電話 が利用できないことがあります。必ず ACR などの機能は停止させて ください。

緊急通報について

本商品は緊急通報 (警察、海上保安、消防) にも対応しています。 一般の電話と同じように、ダイヤルしてください。

3-2 ひかり電話の使いかた

ひかり電話の使いかたについて説明します。

3-2-1 発信(電話をかける)

本商品の電話機ポートに接続した電話機から発信します。

1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット(受話器)から「ツー」という発信音が聞こえます。







呼出音が聞こえます。 相手先が通話中だった場合は、「ツーツーツー」という音が聞こえます。

3 相手の方が出たら、会話します。



お願い

お使いの電話機のACR機能、LCR機能はオフにしてください。

お知らせ

続けてひかり電話をご利用する場合は、ハンドセット(受話器)を3秒以上置 いたあとにダイヤルしてください。

3-2-2 着信(電話をうける)

着信があると、電話機ポートに接続した電話機に着信します。 そのとき各ポートに接続された機器から着信音が鳴ります。

1 電話機の着信音が鳴ります。





お知らせ 前面のひかり電話ランプが緑色に点滅することで、着信がわかります。

2 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げて、相手と会話します。

3 会話が終われば、ハンドセット(受話器)を置きます。



3-2-3ひかり電話で発着信できるサービス

ひかり電話では、以下の電話サービスとの発着信が可能です。

- ・NTT 東日本/西日本の加入電話および ISDN
- ・IP 電話サービス(「050IP 電話」サービス)
- ・国際電話(世界約200の国と地域)
- ・他社の提供する OAB~J 電話サービス
- 携帯電話、PHS

通信機器の種類によっては、ひかり電話の付加サービスをご利用いただけない、 または設定の変更が必要となる場合があります。

ひかり電話で以下の操作はできません

- ・ひかり電話から#(シャープ) ABCD の発信
- ・ひかり電話から 00XY 発信(電気通信事業者を指定した発信)
- ひかり電話から NTT DoCoMo の衛星船舶の発信(以下参照) 090-302-20XXX~41XXX 090-302-43XXX~47XXX 090-302-57XXX~63XXX 090-302-66XXX~67XXX

3-2-4ひかり電話で接続できる番号

ひかり電話で接続できる番号は以下の通りです。(2006 年 10 月現在)

電話番号	サービス名など	接続可否
0120	フリーアクセス/フリーダイヤルなど	0
0170	伝言ダイヤル	×
0180	テレゴング/テレドーム/データドーム	×
0190	エンジェルライン/あんないジョーズ	×
0570	ナビアクセス/APナビ/ナビダイヤル	×
0800	フリーアクセス/フリーダイヤルなど	0
0910	公専接続	×
0990	ダイヤルQ2	×
010	国際通話	0
020	ポケベル	×
050	IP電話	0
060	UPT (eコール)	×
070	PHS	0
080	携帯電話	0
090	携帯電話	0
100	100番通話	×
102	非常・緊急扱い電話	×
104	番号案内	0
106	コレクトコール(コミュニケータ扱い)	×
108	自動コレクトコール	×
110	警察(緊急通報)	0
112	共同加入者受付	×
113	故障受付	0
114	お話し中調べ	×
115	電報受付	0
116	営業受付	0
117	時報	0
118	海上保安(緊急通報)	0
119	消防(緊急通報)	0
121	クレジット通話サービス	×

電話番号	サービス名など	接続可否
122	固定優先解除	×
125	でんわ会議	×
134	ダイヤルQ2パスワード	×
135	特定番号通知機能	×
136	ナンバーアナウンス	×
141	でんわばん、二重番号サービス	×
142	ボイスワープ	0
144	迷惑電話おことわりサービス	0
145	キャッチホン2	×
146	キャッチホン2	×
147	ボイスワープセレクト、なりわけサービス	0
148	ナンバーリクエスト	0
149	DDX-TP	×
151	メンバーズネット	×
152	メンバーズネット	×
159	あいたらお知らせ	×
161	ファクシミリ通信網	×
162	ファクシミリ通信網	×
163	DDX-TP	×
164	DDX-TP	×
165	メール送受信	×
166	ビデオテックス接続	×
167	DDX-TP	×
169	DDX-TP	×
171	171災害時伝言ダイヤル	0
177	天気予報	0
178	オフトーク	×
184	発信者番号通知拒否	0
186	発信者番号通知	0
189	ダイヤル02	×

3-2-5保留

本商品の電話機ポートに接続した電話機で着信した電話を保留します。

50)))))

お知らせ

- ・接続された電話機またはIP端末に、保留機能が用意されているときに有効です。
- 内線通話時には保留機能は動作しません。

1 通話中、電話機の保留機能を有効にします。

保留中は相手先には保留音が流れます。



保留の操作はご使用の電話機、IP端末の取扱説明書をご参照ください。

フッキング



2 保留を解除します。

通話をお続けください。

3-2-6内線

他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話に対応した無線 IP 端末、 LANポートに接続された有線 IP端末などを呼び出して、通話することができます。

1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット(受話器)から「ツー」という発信音が聞こえます。



2 相手の内線番号をダイヤルします。

内線番号は内線設定画面を参考にしてください。(『? p.74)



内線番号のダイヤル方法についてはIP端末、電話機の取扱説明書をご参照く ださい。



呼出音が聞こえます。 相手先が通話中だった場合は、「ツーツーツー」という音が聞こえます。



4 会話が終われば、ハンドセット(受話器)を置きます。





お知らせ 続けてひかり電話や内線をご利用する場合は、ハンドセット(受話器)を3秒 以上置いたあとにダイヤルしてください。

3-2-7 内線転送

外の相手との電話を他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話に対応 した無線 IP 端末、LAN ポートに接続された IP 端末などに取りつぎます。



お知らせ 接続されている電話機、または IP 端末に転送機能が用意されている場合に有効 です。

1 通話中、保留機能を有効にします。

保留中は相手先には保留音が流れます。



お知らせ

内線転送の操作はご使用の電話機、IP端末の取扱説明書をご参照ください。

フッキング



2 相手の内線番号をダイヤルします。

内線番号は内線設定画面を参考にしてください。(『? p.74)



呼出音が聞こえます。



3-2-8キャッチホン

キャッチホン契約をされている場合は、通話中に他の電話から着信があったと きに割込音でお知らせします。

お知らせ

複数チャネルをご契約の場合の割込音通知設定については、「割込音通知」 (1207 p.89)をご参照ください。

 通話中に他の電話から着信があった場合は、ハンドセット(受話器)から 「プップッ・・・」と割込音が聞こえます。



2 相手の方にキャッチホンが入ったことを伝え、キャッチホンボタンを 押します。

通話中だった相手は保留状態になります。



詳しくは電話機の取扱説明書をご参照ください。



保留中だった相手と通話できます。





3-2-9ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイ契約をされている場合は、電話機に発信者の電話番号 が表示されます。





お知らせ

- ・ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
 表示方法は電話機の取扱説明書をご参照ください。
- ・電話機によっては、発信者の電話番号などが正しく表示されないことがあ ります。
- ・発信者の電話番号が表示されない場合は、表示されない理由が電話機に表 示されます。

表示内容を確認して電話に出ることができます。

・表示内容は、ご使用の電話機によって異なります。 詳しくは電話機の取扱説明書をご参照ください。

3-2-10 発信者番号通知/非通知

相手先にこちらの電話番号を通知できます。

●発信時のダイヤル操作

ひかり電話のご契約内容により、ダイヤル操作が異なります。

末71 《4	ダイヤル操作				
关 利	相手番号	184+相手番号	186+相手番号		
通常通知 (通話ごと非通知)	0	×	0		
通常非通知 (回線ごと非通知)	×	×	0		

O: 通知する ×: 通知しない

3-2-11複数チャネル(ダブルチャネル)

本商品に接続した電話機が通話中でも、他の電話機ポートに接続された電話機を使用できます。



外線から電話機1と通話中



お知らせ

- ・複数チャネル(ダブルチャネル)のご契約が必要です。
- ・追加の契約なしに、キャッチホン相当の機能をご利用になれます。

3-2-12追加番号 (マイナンバー)

本商品に接続した電話機で、別々の電話番号で着信したいときに電話機別に電 話番号を持つことができます。





お知らせ 追加番号(マイナンバー)のご契約が必要です。

3-2-13 優先着信

本商品の2つの電話機ポートを同一着信番号で設定している場合、優先して着信する電話機ポートを設定できます。(12) p. 100)

通常

電話機1 電話番号 030000000 外線着信





お知らせ

着信中に他からの着信があった場合、電話機のハンドセット(受話器)を取り上 げて通話中になると通知音で連絡します。

(複数チャネル契約時で「割込音通知」を「使用する」に設定している場合)





お知らせ

- ・電話機ポート1~2に接続された電話機に対して有効です。
- ・この機能を利用する場合、IP端末は使用できません。
- ・着信中に他からの着信があった場合、電話機のハンドセット(受話器)を 取り上げて通話中になっても通知音はありません。(複数チャネル契約時)

3-2-14指定着信機能

電話番号に指定着信番号を付加してダイヤルすることで、特定の電話機を直接 呼び出せます。(12) p. 105)

通常



指定着信番号設定時

(電話番号 + 🗷 + 着信指定番号(最大19桁))



・電話機ポート1~2に接続された電話機に対して有効です。

・電話機ポート1~2に接続された電話機のどちらか1つに設定できます。

電話機1

電話番号 030000000

3-3 パソコンから設定

Web ブラウザで本商品にアクセスすることで、管理メニューが表示されます。 設定の変更や、ご使用中の機器状態の確認ができます。 ひかり電話の設定を変更しない場合は、必要ありません。



お知らせ

- ・本商品へアクセスする場合は、パソコンの設定を行ったうえで、Webブラウザからアクセスしてください。「8-1 パソコンのネットワーク設定」(12) p. 179)
- ・Webブラウザは下記のバージョンに対応しています。
 - <Windows XP/2000/Me/98SE/98の場合>
 - ・Microsoft Internet Explorer Ver.6.0 SP1以上(日本語版)
 - <Macintosh(Mac OS X以降/Mac OS 9.x以前)の場合>
 - ・Microsoft Internet Explorer Ver.5.1以上(日本語版)



お願い

ひかり電話の使用中(内線通話を含む)は、登録など本商品の再起動を伴う操作 はできない場合があります。

1 Web ブラウザを起動します。

2 Web ブラウザのアドレス欄に下記のアドレスを入力し、Enter キーを押し ます。

http://ntt.setup/





お知らせ

http://192.168.1.1/でもアクセスできます。

機器設定用パスワードの初期設定画面が表示されます。

RV-23DSE – Microsoft Internet Explorer	_ B ×
マイル(E) 編集(E) 表示(2) お気に入り(a) ツール(E) ヘルプ(E) ドレイ(D) (a) here (くらいっちゃく	10 PT 1245
Intervention and a sector	A 10400 0000
機器設定用パスワードの初期設定	-11-7 💽
素商品は、第三者による不意のアクセスや設定変更を防止するため、機器設定用バスワートを入力してはいめてアクセスできる パスワードに使用できるのは32文字以内の半角英数文字(3)℃%26-後方除20のみです。 ※本稿品を設定するためのバスワードです。プロ・バダから供給されるバスワートではありません。	ようになっています。
[機器設定用バスワードの初期設定]	
ハスリート 再入力	
18定	

※ご使用の Web ブラウザや OS のバージョンによって画面表示は異なりますが、 入力が必要な項目は同じです。



お知らせ

機器設定用パスワードの初期設定画面は、本商品に初めてアクセスしたときのみ表示されます。 初期設定終了後はパスワード入力画面(『?? p.67)が表示されます。

3 パスワードおよびパスワード再入力を入力します。

任意でパスワードを入力してください。 入力したパスワードはメモしておいてください。

パスワード



お知らせ

- ・ここで入力するパスワードは、本商品にアクセスするためのパスワードです。
 プロバイダから提供されたパスワードではありません。
- ・32文字以内の半角英数文字および記号が使用できます。
 ただし、
 と
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※<
- ・大文字と小文字は区別されます。
- ・パスワードおよびパスワード再入力欄の入力文字は、すべて「●」や「*」
 に置き換わって表示されます。
- ・パスワード再入力欄で異なるパスワードを入力した場合は、エラー画面が表示されます。入力操作をやり直してください。
- ・空白にすることはできません。
 また、スペースのみで設定することもできません。

4 設定 をクリックします。

設定ウィザード画面が表示されます。

🗿 RV-230SE – Microsoft Internet Explorer	- PX
ファイル(ビ) 編集(ビ) 表示(2) お気に入り(A) ツール(ビ) ヘルブ(ビ)	17 1746 U.D. 2
2112Add at http://httsetup/ogroun/main.ogi	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
設定ウィザード	<u> - 117</u>
設定ウィザードでは、接続に必要な最低限の設定を行います。	
接続先の設定を行います。 インターネットをご利用したる場合は、プロバイダから提供された情報を入力してください。	
[接続九の設定] 接続カニザ名 接続 バワード	
[フレッツ・スグウェア接続] フレッツ・スグウェア 録道する M	
節定	
an Al-Marina I N	

5 インターネットを利用される場合、接続先ユーザ名および接続パスワー ドを入力します。

プロバイダとの契約書などを参考に入力してください。

接続先ユーザ名: ****@****. ne. jp など

6 「フレッツ・スクウェア接続」を設定します。

フレッツ・スクウェア接続をご利用になる場合は「設定する」を、ご利用 にならない場合は「設定しない」を選択してください。



7 設定 をクリックします。

本商品が自動的に再起動をはじめます。



8 本商品前面のアラームランプが消灯しているのを確認し、再表示 を クリックします。

パスワード入力画面が表示されます。

ntt.setup に接続	?×
F.	
ユーザ名には"user"を入れ	ו
ユーザー名(U):	2
パスワード(円):	
	□ パスワードを記憶する(<u>B</u>)
	OK ++>セル

※ご使用のWeb ブラウザやOSのバージョンによって画面表示は異なりますが、 入力が必要な項目は同じです。

9 ユーザー名およびパスワードを入力します。

ユーザー名:USer パスワード:手順3で設定したパスワード

ntt.setup に接続	?×	
F	G. S.	
ユーザ名には"user"を入力	5	
ユーザー名(山):	😰 user 💌	
パスワード(<u>P</u>):	****	
	パスワードを記憶する(R)	
	OK ++>\U/	



stop お願い

パスワードを忘れた場合は、「8-3 本商品の初期化」(12) p. 193)を参照 し、初期設定に戻してご使用ください。

10 OK をクリックします。

本商品の管理メニューが表示されます。

RV-230SE – Microsoft Internet Exp	lorer						
ベルビ 編集(E) 表示(V) お気に入り(A)	ツール田	ヘルプ(日)					956 *
シス(D) 創 nttsetup							× 🖻
() NTT RV-2305F	接続	先設定					<u>~uj</u>
基本設定 ■ <u>技統先設定</u> 電話設定 無線LAN間連 詳細設定	複数の推 通常の違 ます。 接続先の	鉄続先と同時に接線 動信にはメインセッ り設定を変更また(5追加するには、空	売するよう設定する ションを使用し、指 は削除するには、君 3欄の番号をクリッ	ことができます。 定した特定の条件に一致し 移らをクリッグしてください。 グレてください。	た場合のみ	セッション	/2~5を使用し
<u>メンテナンス</u>	[接続先	の選択設定]		Address 17	······································	d h fain	4.11
1 <u>情報</u>	接続可	接続先選択	接続先名	接続モード	UPnP優先	状態	操作
		<u>メイノビッション</u>			۲		
		セッションス	ElotoSquara Eoot	再求時接续(白動把断する)	0	停止由	「細志」
		1200/12/14	rietsoquare cast	8-9-9-9 18-90 18-90 - 90 - 90 - 90 - 90 - 90 - 90 - 90	~	1712.1	1005
		+2vr/1=1/5			0		
	議定						
ページが奏示されました						4) ብンターネット

メニューフレーム

操作フレーム

管理メニューは、メニューフレームと操作フレームに分かれています。 メニューフレームの各項目を選択すると、操作フレームに対応する画面が 表示されます。



お知らせ

- ・操作フレーム右上にある マークをクリックすると、各ページのヘルプが 表示されます。
- ・説明に使用している画面表示は、お使いのWebブラウザやOSのバージョンに よって異なります。
- ・お使いのWebブラウザやWebブラウザの設定により、説明されている操作を 行った際に、Webブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があり ます。この場合は、Webブラウザのインターネットー時ファイル(キャッ シュ)を削除してから、画面を更新してください。(詳しくは、各Webブラ ウザのヘルプをご参照ください。)
- ・回線の状況や設定によっては、設定内容がWebブラウザに表示されるまでに 時間がかかる場合があります。
- ・Webブラウザの ③ (戻る)、 ◎ (進む)や、 2 (更新)のボタンを使用し ないでください。本商品への操作が正しく行われない場合があります。
- ・Webブラウザによっては

 (閉じる)ボタンをクリックしても、ウィンドウ が閉じないことがあります。その場合はメニューの「ファイル」から「ウィ ンドウを閉じる」などを選択してください。
- ・接続先ユーザ名、接続パスワードは「メインセッション」に設定されます。 「メインセッション」の接続モードは「常時接続」です。
- ・プロバイダからDNSサーバを設定するよう指示がある場合は、機能詳細ガイド(12)
 p. 17)をご参照ください。
- ・「フレッツ・スクウェア接続」で「設定する」を選択した場合は、「セッ ション3」に設定されます。
- ・設定時「工事中のため、設定変更はできません。」とメッセージが表示された場合は、設定変更工事中のため本商品の設定はできません。
- ・ひかり電話使用中、および使用後の一定時間は、設定後の再起動から本 商品を再起動できない場合があります。
 ひかり電話の使用後、一定時間が過ぎてから本商品を再起動してください。
小項目の表示

本商品のメニューは階層化されています。

左側に **[**(プラス)マークがあるメニューをクリックすると、メニューの 小項目が表示されます。



このとき、 💽 (プラス) マークは 📃 (マイナス) マークに変わります。





お知らせ

本誌ではメニュー間の移動を「-」で表現しています。 例)「電話設定」-「ひかり電話共通設定」をクリックします。

3-3-1 ひかり電話共通設定

ひかり電話共通設定画面では、ひかり電話に関する共通項目の設定を行います。

メニューフレームの「電話設定」 –「ひかり電話共通設定」をクリックします。

操作フレームにひかり電話共通設定画面が表示されます。

ひかり電話共通設定	<u>nut</u> 💽
[ひかり電話設定] 音声優先モード なし w 優先着信ボート 無効 w	
[拡張設定] PING応答機能 使用する	
設定	

● [音声優先モード]

インターネットとひかり電話を同時に利用しているとき、インターネットで使 用しているデータ量が増えると、ひかり電話の音声パケットが廃棄され音声品 質が劣化することがあります。

このような場合は、音声パケットを優先的に送出する設定することで、音声品 質を改善できます。

- ・なし : 音声優先モードを使用しない。(初期値)
- ・優先 : 音声パケットを優先処理します。
- ・最優先 : 音声パケットを最優先で処理します。

お知らせ

音声優先モードを使用すると、パケットの優先処理にともないデータ通信 の速度が低下する場合があります。 ● [優先着信ポート]

本商品の2つの電話機ポートを同一着信番号で設定している場合、優先して着 信する電話機ポートを設定します。

アナログ端末(電話機1)

:電話機1ポートに接続した電話機を優先的に呼び出します。

- アナログ端末(電話機 2)
 - :電話機2ポートに接続した電話機を優先的に呼び出します。
- ・無効 :優先着信を行いません。(初期値)



- ・優先着信ポートを設定する場合は、割込音通知機能とIP端末は使用できません。(1207 p. 100)
- [PING 応答機能]
 - WAN 側からの PING に応答するか指定します。
 - ・使用する : PING に応答する。(初期値)
 - ・使用しない: PING に応答しない。

3-3-2 内線設定

内線設定画面では、本商品に接続する端末の設定を行います。

1 メニューフレームの「電話設定」 – 「内線設定」をクリックします。

内線設定 電話の設定を行います。 [内線番号一覧] 利用有無内線番号ニックネーム 端末属性 優先着信 指定着信 登録状態 設定の削除 <u>TEL1</u> アナログ端末(電話機1) \checkmark 1 --_ _ \checkmark TEL2 アナログ端末(電話機2) _ _ 2 IP <u>phone1</u> 削除 4 3 - \checkmark 4 IP phone2 削除 \checkmark 5 IP phone3 削除 Ξ 6 IP phone4 削除 7 IP phone5 削除 設定

操作フレームに内線設定画面が表示されます。

● [利用有無]

内線端末として利用する端末を選択します。 最大5台まで同時に利用できます。 初期値として内線1~5にチェックが入っています。

お知らせ

当該内線番号のIP端末は、通話中にチェックを外すと通話が切断されます。

● [内線番号] 端末に割当てられた内線番号が表示されます。 内線番号をクリックすると、設定画面が表示されます。(〔2) p.76、79) 初期値として1~7が設定されています。

● [ニックネーム] 端末に割当てられたニックネームが表示されます。

ニックネームをクリックすると、設定画面が表示されます。(🐼 p. 76、79)

● [端末属性]

接続されている内線端末の属性が表示されます。 端末属性をクリックすると、設定画面が表示されます。(1200 p.76、79) 初期値としてアナログ端末(電話機1)、(電話機2)以外は「-」が設定されて います。

● [優先着信]

優先着信が設定されているか表示されます。(12) p. 100)

- 優先 : 優先着信を設定していない状態
- ・非優先 :優先着信を設定している状態

● [指定着信]

指定着信番号が設定されているか表示されます。(IP p. 105)

・- :指定着信番号を設定していない状態

有効 :指定着信番号を設定している状態

● [登録状態]

IP 端末の場合は、内線端末から本商品への内線登録状態が表示されます。

- :現在利用できない状態
- 未登録 :現在利用できない状態

(内線端末に本商品と接続するための設定が未設定)

・登録済み :現在利用できる状態

● [設定の削除]

削除 をクリックすることで、IP 端末の内線設定の登録情報を削除します。 ただし、内線番号は削除されません。



お知らせ

当該内線番号のIP端末は、通話中に 削除 を押すと通話が切断されます。

2 設定する「内線番号」をクリックします。

対応する内線設定画面が表示されます。

- 別 お知らせ
 - ・アナログ端末(電話機1)は本商品背面の電話機1ポートに接続された電話
 機、アナログ端末(電話機2)は本商品背面の電話機2ポートに接続された
 電話機に関する設定を行います。
 - ・画面の電話番号設定に表示されている電話番号は、契約番号として 030000000、追加番号として030000001を契約しているときの例です。

アナログ端末設定画面

内線設定	定(アナ	ログ端え	末)				<u>nuđ</u> 💽
内線設定(ア	ナログ端ヲ	ҟ1)の設定を	行います。				
「内線設定」	1						
内線番号	1						
ニックネーム	TEL1						
[ひかり電話	設定]						
ナンバー・デ	ィスブレイ	使用する	*				
七ナムダイキ	マルイン	使用しない	1 🗸				
吉山〇首週丸 ダイヤーが語	問々イマ(利	使用する	V				
		4 *					
[電話番号該	淀]		LH:				
雪託来早	通知来早	- 主 差 信 来 早	指定者信機能	七中七	关信主法	at P	
电心田与	通知田た		使用する指定着信番号	, 宿底'武 ' 着信	/18 IC 8 #	EDV	
0300000000	۲	V			IR 🗸		
0300000001	0	¥			IR 🗸		
内線	-	-	-		SIR 🗸		
設定 戻る							
	E# 1						
L 内線番号	─筧亅						
利用有無内]線番号	ニックネーム	端末属性	優先着信	指定着信	登録状態	設定の削除
V	1	TEL1	<u>アナログ端末(電話機1)</u>	2 -	-	-	-
V	2	TEL2	<u>アナログ端末(電話機2)</u>) –	-	-	-
V	3	<u>IP phone1</u>	=	-	-	未登録	育刂阝余
V	4	<u>IP phone2</u>	=	-	-	未登録	育引移余
1	5	<u>IP phone3</u>	=	-	-	未登録	育刂除余
	<u>6</u>	<u>IP phone4</u>	=	-	-	-	育山际余
	7	<u>IP phone5</u>	=	-	-	-	肖山『除余

● [内線番号] 内線番号として使用する電話番号を1~9、10~99の範囲で設定します。

お知らせ

・0もしくは00を設定することはできません。

・重複した内線番号は設定できません。

● [ニックネーム]

ニックネームを入力します。

任意のニックネームを半角英数字記号 64 文字以内で入力します。

内線番号	初期値				
内線番号1~2	TEL1~2				

● [ナンバー・ディスプレイ]

ナンバー・ディスプレイ機能(発信者の電話番号を表示する機能)を使用 するか設定します。

サービス契約および、接続した端末がナンバー・ディスプレイに対応している 必要があります。

- ・使用する(初期値)
- ・使用しない
- [モデムダイヤルイン]
 電話の着信時にモデムダイヤルイン(着信番号情報をモデム信号として通知する機能)を使用するか設定します。
 接続した端末がモデムダイヤルインに対応している必要があります。
 ・使用する
 - ・使用しない(初期値)
- [割込音通知]

複数チャネルご契約時で通話中に着信があったとき、もしくは内線通話中の外 線着信のときに、割込音にて着信を通知するか設定します。

- ・使用する(初期値)
- ・使用しない



複数チャネルをご契約の場合の割込音通知設定については、「割込音通 知」 〔20 p.89〕をご参照ください。

[ダイヤル桁間タイマ(秒)]
 ダイヤルを入力してから、次のダイヤルの入力待ち状態を満了するまでの時間を選択します。
 設定された秒数以内にダイヤル入力がない場合は、入力済のダイヤル番号で発信します。
 ・4~8(初期値4)

● [通知番号]

この端末から発信する際に、接続先に通知する電話番号を選択します。 選択できる通知番号は1つです。 初期値として契約番号が選択されています。

● [着信番号]

契約している電話番号のうち、この端末への着信番号として使用する番号を選 択します。

複数の着信番号を選択できます。

初期値として電話番号設定に表示されているすべての番号が選択されています。

お知らせ

他の端末設定画面で、同じ電話番号を選択することができます。 その場合、複数の電話機(IP端末)から同時に着信音が鳴ります。

●[指定着信機能 使用する] 指定着信機能を使用する電話番号を選択します。

お知らせ

指定着信機能は電話機ポート1~2に接続された電話機のどちらか1つに設 定できます。

- ●[指定着信機能 指定着信番号] 使用する指定着信番号を入力します。(1~19 桁の半角数字)
- ●[指定着信機能 指定なし着信] 指定着信番号あり/なし両方の着信を受ける場合、選択します。
- [着信音選択]

指定された番号の外線着信時の呼出音を選択します。

- IR : リーンリーン(ひかり電話の初期値)
- SIR : リンリン(内線の初期値)

💵 お知らせ

- ・「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は「IR」に設定してください。
- ・実際の呼出音は使用される電話機によって異なります。

IP 端末設定画面



が お知らせ

- ・本商品にLANポートや無線で接続されたIP端末に関する設定を行います。
- ・画面の電話番号設定に表示されている電話番号は、契約番号として 030000000、追加番号として030000001を契約しているときの例です。

内線設	定(IPs	満末)					<u>~117</u> 💽
内線設定(I	P端末)の	設定を行います	•				
[内線設定 内線番号	3						
ニックネー	L, IF	phone1					
端末属性	-	*					
ダイジェスト	-認証 (1	τò 🗸					
ユーザID	0	003					
バスワード	Y	18pywed					
 30000000 030000000 030000000 (設定) 戻る 	0 ⊙ 1 〕						
[内線番号	一覧]						
利用有無	内線番号	トニックネーム	端末属性	優先着信	指定着信	登録状態	設定の削除
1	<u>1</u>	TEL1	<u>アナログ端末(電話機1)</u>) –	-	-	-
1	2	TEL2	<u>アナログ端末(電話機2)</u>	2 -	-	-	-
1	3	IP phone1	Ξ.	-	-	未登録	育山『除余
1	<u>4</u>	IP phone2	=	-	-	未登録	育刂除余
1	<u>5</u>	IP phone3	=	-	-	未登録	育川除
	<u>6</u>	IP phone4	Ξ.	-	-	-	削除
	2	IP phone5	=	-	-	-	削除

● [内線番号] 内線番号として使用する電話番号を1~9、10~99の範囲で入力します。

お知らせ

・0もしくは00を設定することはできません。

・重複した内線番号は設定できません。

● [ニックネーム]

任意のニックネームを半角英数字記号 64 文字以内で入力します。

内線番号	初期値				
内線番号 3~7	IP phone1~5				

● [端末属性]

接続した端末の属性を選択します。

- ・ー (初期値)
- ・IP 端末(音声)
- ・IP 端末(映像)

お知らせ

- ・接続した端末の機能と異なる設定をした場合、正しく動作しません。
 接続した端末の機能に合わせて設定してください。
- ・内線簡易設定機能(『シア 「機能詳細ガイド」 p. 17)をお使いの場合 は、[端末属性]は自動的に設定されます。

● [ダイジェスト認証]

ひかり電話に対応した IP 端末を内線として使用する場合に、セキュリティ保護 の点からユーザ ID、パスワードで認証を行うか設定します。 ダイジェスト認証を「行わない」にしても内線は使用可能です。

- 行う(初期値)
- ・行わない
- [ユーザ ID] ダイジェスト認証用のユーザ ID を入力します。

お知らせ

- ・ユーザIDは本商品が自動生成するので、通常は設定を変更しないでく ださい。
- ・ダイジェスト認証を使用しない場合は、パスワード未入力で内線の使 用は可能ですが、セキュリティ上ダイジェスト認証を使用することを お勧めします。

● [パスワード] ダイジェスト認証用のパスワードを入力します。

お知らせ

- ・パスワードは本商品が自動生成するので、通常は設定を変更しないでください。
- ・ダイジェスト認証を使用しない場合は、パスワード未入力で内線の使 用は可能ですが、セキュリティ上ダイジェスト認証を使用することを お勧めします。

● [通知番号]

この端末から発信する際に、接続先に通知する電話番号を選択します。 選択できる通知番号は1つです。 初期値として契約番号が選択されています。

● [着信番号]

契約している電話番号のうち、この端末への着信番号として使用する番号を選 択します。

複数の着信番号を選択できます。

初期値として電話番号設定に表示されているすべての番号が選択されています。

お知らせ

他の端末設定画面で、同じ電話番号を選択することができます。 その場合、複数の電話機(IP端末)から同時に着信音が鳴ります。

3-3-3 設定例

ここでは、本商品の機能を利用するための設定例を紹介します。

機能	概 要	参照
着信音の 鳴り分け	ひかり電話もしくは内線からの着信時における、電話機の 着信音を選択できます。	p. 83
一斉着信/ 着信番号選択	最大5台までのひかり電話に対応したIP端末、電話機を一斉 に呼び出せます。	p. 85
割込音通知	複数チャネル契約時に、通話中の着信を割込音にて通知 します。	p. 89
テレビ電話	ひかり電話に対応したIP端末や携帯電話(FOMA)端末と、 映像と音声による通話ができます。 テレビ電話の契約が必要です。	p. 91
モデム ダイヤルイン	着信した電話番号を、モデム信号として電話機に送信します。	p. 94
ナンバー・ ディスプレイ	電話機に発信者の電話番号が表示されます。 ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。	p. 97
優先着信	本商品の2つの電話機ポートを同一着信番号で設定してい る場合、優先して着信する電話機ポートを設定できます。	p. 100
指定着信機能	電話番号に指定着信番号を付加してダイヤルすることで、 特定の電話機を直接呼び出せます。	p. 105

🐠 お知らせ

・記載されているサービス名称については、変更になる場合があります。

・無線 LAN の設定については「5-3 無線 LAN 設定」(① p. 133) をご参照ください。

着信音の鳴り分け

ひかり電話もしくは内線からの着信時における、電話機の着信音を IR(リーンリーン)、SIR(リンリン)から選択できます。

別 お知らせ

- ・「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合が あります。その場合は「IR」に設定してください。
- ・実際の呼出音は使用される電話機によって異なります。
- ・本機能は、電話機に対してのみ提供可能な機能です。



1 メニューフレームの「電話設定」-「内線設定」をクリックします。

内線設	定						<u>aut</u> 💽		
電話の設定を行います。									
[内線番号一覧]									
利用有無	内線番号	ミ ニックネーム	进士属性	優先着信	指定着信	登録状態	設定の削除		
1	<u>1</u>	TEL1	<u>アナログ端末(電話機1)</u>	-	-	-	-		
\checkmark	2	TEL2	<u>アナログ端末(電話機2)</u>	-	-	-	-		
V	<u>3</u>	IP phone1	Ξ		-	-	削除		
V	<u>4</u>	<u>IP phone2</u>	Ξ	-	-	-	削除		
V	5	IP phone3	=	-	-	-	再川际余		
	<u>6</u>	IP phone4	Ξ	-	-	-	削除		
	<u>7</u>	IP phone5	Ξ	-	-	-	削除		
設定									

操作フレームに内線設定画面が表示されます。

2 設定するアナログ端末の「端末属性」をクリックします。

対応する内線設定画面が表示されます。

内線設定	ミアナ	ログ端の	末)				<u> ^už</u>
内線設定(アナ	⊦ログ端ヲ	末1)の設定を	行います。				
[内線設定]							
勺線番号	1						
ニックネーム	TEL1						
ひかり電話	設定]						
ナンバー・ディ	ィスプレイ	使用する	*				
Eデムダイヤ	ルイン	使用しない	1 🗸				
割込音通知		使用する	*				
ダイヤル桁間	タイマ(剤) 4 ~					
電話番号設	定]						
			指定着信機能				
載話番号 〕	通知番号	5 着信番号,	使用する 指定着信番号	。 指定な ・ 着信	,着信音递	訳	
300000000	۲	¥			IR 💌		
300000001	0	\checkmark			IR 🗸		
勺線	-	-	-		SIR 🗸		
					\square		
RE KO							
内線番号一	覧]						
间田右無内	線番号:	ニックネール	端末属性	優先着信	指定着信	啓録状能	設定の削り
	1	TEL1	アナログ端末(電話機1) -	-	-	-
	2	TEL2	アナログ端末(電話機2	2) -	-	-	-
V	3	IP phone1	=	-	-	未登録	育川『余
¥	4	IP phone2	=	-	-	未登録	肖 川 『 余
	5	IP phone3	_	-	-	未登録	间小除
	<u>6</u>	IP phone4	=	-	-	-	肖川『余

3 [電話番号設定]の着信時の[着信音選択]を選択します。

- [着信音選択] 外線着信時の呼出音を選択します。 ・IR : リーンリーン SIR : リンリン
- 4 設定 をクリックします。

設定が反映されました。

一斉着信/着信番号選択

最大 5 台までのひかり電話に対応した電話機、IP 端末を一斉に呼び出すこと (一斉着信)ができます。

別別 お知らせ

- ・無線IP端末を利用するにはオプション品の無線LANカード「SC-32SE」が必要です。(〔② p.131)
- ・映像着信の場合は、端末属性が「IP端末(映像)」に設定された端末にのみ、着信します。

一斉着信

本商品に接続されたすべての電話機、IP 端末を呼び出します。



有線IP端末

本商品に接続された電話機、IP端末から選択して呼び出します。



1 メニューフレームの「電話設定」 - 「内線設定」をクリックします。 操作フレームに内線設定画面が表示されます。

<u>内線設定 ヘルプ</u> 💽									
ー 「電話の設定を行います。									
[内線番号一覧]									
利用有無	内線番号	ラニックネーム	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	優先着信	指定着信	登録状態	設定の削除		
\checkmark	1	TEL1	<u>アナログ端末(電話機1)</u>	-	-	-	-		
\checkmark	2	TEL2	<u>アナログ端末(電話機2)</u>	-	-	-	-		
\checkmark	3	IP phone1		-	-	-	再归除		
\checkmark	<u>4</u>	IP phone2	=	-	-	-	育川移余		
\checkmark	5	IP phone3	=	-	-	-	育川『余		
	<u>6</u>	<u>IP phone4</u>	Ξ	-	-	-	育川移余		
	7	<u>IP phone5</u>	=	-	-	-	再引移余		
設定									

2 設定する端末の「端末属性」をクリックします。

対応する内線設定画面が表示されます。

シリリン お知らせ

ここでは電話機を例に説明します。

内線設定(アナログ端	末)				<u>nu</u> z 💽
内線設定(アナロ	1グ端末1)の設定を	行います。				
[内線設定] 内線番号 1 ニックネーム TI	EL1					
 びかり電話設 ナンバー・ディス モデムダイヤル 割込音通知 ダイヤル桁間タ 	定] プレイ 使用する イン 使用しない 使用する イマ(秒) 4 マ					
[電話番号設定 電話番号通] 知番号 着信番号	指定着信機能 使用する 指定着信番号	指定ない	,着信音運	観	
0300000000	•			IR 🗸		
0300000001	0 🗹			IR 🗸		
内線	- -	-		SIR 🛩		
設定 戻る						
	1					
利用有無内線	番号ニックネーム	- 端末属性	優先着信	指定着信	登録状態	設定の削除
	<u>1 TEL1</u>	<u> //ナロク端木(電話機1)</u> マナログ端末(電話機1)	-	-	-	-
	Z <u>IELZ</u> ID phone1	<u>//ロク端木(電話機2)</u> -		_	- 本啓録	BIRA
	4 IP phone?	-	_	_	不豆% 未啓録	日リレホー
	i IP phone3	-	_	_	未登録	削除
	3 IP phone4	_	-	-	-	削除
	7 IP phone5	=	-	-	-	间下余

3 [着信番号]を選択します。

選択した電話機、IP 端末に対して、呼び出す着信番号を選択してください。

別 お知らせ

すべてを呼び出す(一斉着信)ときは、すべての電話機、IP端末で[着信番号]の設定でチェックを入れます。

呼び出す電話機、IP端末を使い分けるときは、呼び出しに使用する電話機、 IP端末にのみ[着信番号]の設定でチェックを入れます。

●[着信番号] 契約している電話番号のうち、この端末への着信番号として使用する番号を選 択します。

4 設定 をクリックします。

設定が反映されました。

割込音通知

複数チャネルご契約時で通話中に着信があったとき、もしくは内線通話中の外 線着信のときに、割込音にて着信を通知します。

別 お知らせ

本機能は、電話機に対してのみ提供可能な機能です。

Ⅰ メニューフレームの「電話設定」ー「内線設定」をクリックします。

操作フレー	ムに内線設定画面が表示されます。	0
-------	------------------	---

電話の設定を行います。								
[内線番号一覧]								
利用有無	内線番号	ニックネーム	进士属性	優先着信	指定着信	登録状態	設定の削除	
\checkmark	1	TEL1] -	-	-	-	
\checkmark	2	TEL2	<u>アナログ端末(電話機2)</u>	-	-	-	-	
\checkmark	<u>3</u>	<u>IP phone1</u>		_	-	-	再归除	
\checkmark	<u>4</u>	IP phone2	Ξ.	-	-	-	頁川除	
\checkmark	5	<u>IP phone3</u>	=	-	-	-	同時	
	<u>6</u>	<u>IP phone4</u>	=	-	-	-	削除	
	7	IP phone5	=	-	-	-	再川除	
設定								

2 設定するアナログ端末の「端末属性」をクリックします。

対応する内線設定画面が表示されます。

内線設定	ミアナ	ログ端え	末)				<u>nuj</u> 💽
内線設定(アナ	-ログ端ヲ	k1)の設定を	行います。				
[内線設定]							
内線番号	1						
ニックネーム	TEL1						
「ひかり電話」	没定]						
ナンバー・ディ	rスプレイ	使用する	*				
エデリーダイヤ	1.1	(由田士王	-				
割込音通知		使用する	~				
ンイヤル州市	1×1 < (43	/) 4 🗸					
[電話番号設	定]						
重过来口、	ጄ ተጠ-₩- ⊏	↓美信来□	指定着信機能	++	羊信立法	2+0	
电站钳方)	思知留ち	有后留方	使用する指定着信番号	, 指正'al ' 着信	,相后日进	€1)\	
0300000000	۲	V			IR 🗸		
0300000001	0	\checkmark			IR 🛩		
内線	-	-	-		SIR 🗸		
 [広娘来早	啓 1						
利用有無内	線番号	ニックネーム	端末属性	優先着信	指定着信	登録状態	設定の削除
1	1	TEL1	<u>アナログ端末(電話機1)</u>	-	-	-	-
V	2	TEL2	<u>アナロク端末(電話機2)</u>	-	-	-	-
V	3	IP phone1	Ξ.	-	-	木登球	肖川除
1	4	IP phone2	=	-	-	木登球	肖川除
1	5	IP phone3	=	-	-	禾登録	肖儿除
	<u>6</u>	<u>IP phone4</u>	Ξ.	-	-	-	肖儿除
	2	IP phone5	Ξ.	-	-	-	肖 川 『余

3 [割込音通知]を「使用する」に設定します。

複数チャネルご契約時に、通話中の着信を割込音にて通知するか設定します。

- [割込音通知]
 - ・使用する(初期値)
 - ・使用しない

4 設定 をクリックします。

設定が反映されました。

テレビ電話

ひかり電話対応 IP 端末は、他のひかり電話対応 IP 端末や携帯電話 (FOMA) 端末 と、映像と音声による通話ができます。

テレビ電話の操作方法については IP 端末、携帯電話端末の取扱説明書をご参照ください。

ひかり電話対応IP端末



本商品のLAN1~4ポートとひかり電話対応IP端末をLANケーブルで接続します。

市販 LAN ケーブルを使用します。

本商品背面



2 メニューフレームの「電話設定」 - 「内線設定」をクリックします。

操作フレームに内線設定画面が表示されます。

電話の設定を行います。										
[内線番号一覧]										
利用有無内線番号ニックネーム 端末属性 優先着信指定着信 登録状態 設定の							設定の削除			
V	1	TEL1	<u>アナログ端末(電話機1)</u>	-	-	-	-			
\checkmark	2	TEL2	<u>アナログ端末(電話機2)</u>	-	-	-	-			
\checkmark	3	IP phone1	=) -	-	-	再引移余			
\checkmark	<u>4</u>	<u>IP phone2</u>	Ξ	-	-	-	再引除			
\checkmark	<u>5</u>	IP phone3	Ξ	-	-	-	再引除			
	<u>6</u>	IP phone4	Ξ	-	-	-	育川除			
	7	<u>IP phone5</u>	=	J-	-	-	削除			
設定										

3 テレビ電話として使用する IP 端末の「端末属性」をクリックします。

対応する内線設定画面が表示されます。

内線設	定(IP站	嵩 末)					ามว่ 💽
内線設定(IF	⊃端末)の言	没定を行います	•				
[内線設定	1						
内線番号	3						
ニックネー	L, IP	phone1					
端末属性	IP	端末(映像) 🗸					
タインエスト	-525L 11	ð v	_				
ユーザID	00	103					
バスワード	v1	8pywed					
_{設定} 戻る [内線番号・	〕 一覧]						
利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性	優先着信	指定着信	登録状態	設定の削除
	1	TEL1	アナログ端末(電話機1)	-	-	-	-
	2	TEL2	<u> バナロク端末(電詰機2)</u>	-	-	-	_
	3	IP phone1	=	-	-	木豆球	削除
	4	IP phone2	=	-	-	木豆球	
	5	IP phone3	=	-	-	木豆球	自日防決
	6	IP phone4	=	-	-	-	ALL NOP
	-	10 1 5					

4 [端末属性]を「IP 端末(映像)」に設定します。



接続した端末の機能と異なる設定をした場合、正しく動作しません。 接続された端末の機能に合わせて設定してください。

5 設定 をクリックします。

設定が反映されました。

モデムダイヤルイン

着信した電話番号をモデム信号として電話機に送信します。 ファクス付き電話機でファクスと電話を別の電話番号で呼び分けるときに使 います。



お知らせ

- ・モデムダイヤルイン対応の電話機などが必要です。 操作方法は、ご利用される機器の取扱説明書をご参照ください。
- 本機能は、電話機に対してのみ提供可能な機能です。



1 メニューフレームの「電話設定」 - 「内線設定」をクリックします。

操作フレームに内線設定画面が表示されます。

<u>内線設定</u>										
電話の設定を行います。										
[内線番号一覧]										
 利用有無内線番号ニックネーム端末属性優先着信指定着信 登録状態 設定の削除										
V	<u>1</u>	TEL1	<u>アナログ端末(電話機1)</u>	-	-	-	-			
\checkmark	2	TEL2	<u>アナログ端末(電話機2)</u>	-	-	-	-			
\checkmark	3	IP phone1		-	-	-	削除			
\checkmark	<u>4</u>	<u>IP phone2</u>	=	-	-	-	削除			
\checkmark	5	IP phone3	<u> </u>	-	-	-	再川除余			
	<u>6</u>	<u>IP phone4</u>	-	-	-	-	削除			
	7	<u>IP phone5</u>	=	-	-	-	雨川除			
設定										

2 設定するアナログ端末の「端末属性」をクリックします。

対応する内線設定画面が表示されます。

内線設定	(アナ	ログ端え	k)				<u>~uj</u>
内線設定(アナ	ログ端オ	〒1)の設定を	行います。				
- [内線設定]							
内線番号	1						
ニックネーム	TEL1						
しつかり電話	没定」						
エニレダイヤ		 使用する					
モノムメイヤ	10-12	使用する					
ダイヤル桁間	タイマ(利) 4 v					
		-					
[電話番号設)	定]		七中共行物名				
雷話番号 计	承知番号	: 着信番号	百足有16惯能	指定力	,着信音译	₽ŧR	
			使用する 指定着信番号	7 着信	/ 10 8 2	207	
0300000000	۲	\checkmark			IR 🗸		
0300000001	0	\checkmark			IR 🗸		
内線	-	-	-		SIR 🗸		
設定 戻つ							
	551						
[内緑金方一]	見」						
利用有無内	線番号	ニックネーム	端末属性	優先着信	指定着信	登録状態	設定の削除
\checkmark	<u>1</u>	TEL1	<u>アナログ端末(電話機1)</u>	-	-	-	-
\checkmark	2	TEL2	<u>アナログ端末(電話機2)</u>	-	-	-	-
\checkmark	3	IP phone1	Ξ	-	-	未登録	育川移余
\checkmark	<u>4</u>	<u>IP phone2</u>	=	-	-	未登録	育刂隊余
\checkmark	<u>5</u>	<u>IP phone3</u>	=	-	-	未登録	肖刂除
	<u>6</u>	<u>IP phone4</u>	=	-	-	-	削除
	7	IP phone5	-	-	-	-	百川除

3 [モデムダイヤルイン]を「使用する」に設定します。

● [モデムダイヤルイン]

電話の着信時にモデムダイヤルイン(着信番号情報をモデム信号として通知す る機能)を使用するか設定します。 接続した端末がモデムダイヤルインに対応している必要があります。

使用する

・使用しない(初期値)

4 設定 をクリックします。

設定が反映されました。

ナンバー・ディスプレイ

電話機に発信者の電話番号が表示されます。





お知らせ

- ・ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
 表示方法は電話機の取扱説明書をご参照ください。
- ・電話機によっては、発信者の電話番号などが正しく表示されないことがあ ります。
- ・発信者の電話番号が表示されない場合は、表示されない理由が電話機に表 示されます。

表示内容を確認して電話に出ることができます。

- ・表示内容は、ご使用の電話機によって異なります。 詳しくは電話機の取扱説明書をご参照ください。
- 本機能は、電話機に対してのみ提供可能な機能です。

1 メニューフレームの「電話設定」 - 「内線設定」をクリックします。

操作フレームに内線設定画面が表示されます。

内線設	定						<u> ^uj</u>		
電話の設定を行います。									
[内線番号一覧]									
利用有無	内線番号	ミニックネーム	提主届性	優先着信	指定着信	登録状態	設定の削除		
V	1	TEL1	<u>アナログ端末(電話機1)</u>	1-	-	-	-		
V	2	TEL2	<u>アナログ端末(電話機2)</u>	-	-	-	-		
	3	IP phone1			-	-	再 川 B 余		
	<u>4</u>	<u>IP phone2</u>	=	-	-	-	削除		
\checkmark	5	IP phone3	=	-	-	-	頁川除		
	<u>6</u>	IP phone4	Ξ	-	-	-	頁]]除		
	7	<u>IP phone5</u>	=	-	-	-	育川移余		
設定									

2 設定するアナログ端末の「端末属性」をクリックします。

対応する内線設定画面が表示されます。

内線設定	(アナ	ログ端え	末)				<u> ^uj</u>
内線設定(アナ	ログ端末	〒1)の設定を	行います。				
内線番号	1						
ニックネーム	TEL1						
Frank Landersee							
土がいーデ	97元1 ノフーブレンイ	(使用士子					
	1017	IZ HI VAL					
割込音通知	1010	使用する	*				
ダイヤル桁間	タイマ(利)) 4 ~					
[an∋-i-x-io-∋nu	÷1						
し 電話金方改	ΈJ	:	指定差信機能				
電話番号 〕	通知番号	;着信番号	使用する指定着信番号	指定なし 着信	,着信音递	鈱	
0300000000	۲	V			IR 🛩		
0300000001	0	\checkmark			IR 🗸		
内線	-	-	-		SIR 🗸		
「膝空」 同ろ							
BRAE (KS)							
	軽 1						
LINNES.	見」						
利用有無内	線番号	ニックネーム	端末属性	優先着信	指定着信	登録状態	設定の削除
\checkmark	<u>1</u>	TEL1	<u>アナログ端末(電話機1)</u>	-	-	-	-
	2	TEL2	<u>アナロク端末(電話機2)</u>	-	-	-	-
	3	IP phone1	Ξ.	-	-	木登球	肖川除
	4	IP phone2	Ξ.	-	-	木登球	前小院
	5	IP phone3	=	-	-	木豆球	11 除
	<u>6</u>	IP phone4	Ξ.	-	-	-	削除
	-						

3 [ナンバー・ディスプレイ]を「使用する」に選択します。

● [ナンバー・ディスプレイ] ナンバー・ディスプレイ機能(発信者の電話番号を表示する機能)を使用 するか設定します。 サービス契約および、接続した端末がナンバー・ディスプレイに対応している 必要があります。 ・使用する(初期値) 使用しない

4 設定 をクリックします。

設定が反映されました。

優先着信

本商品の2つの電話機ポートを同一着信番号で設定している場合、優先して着 信する電話機ポートを設定できます。

通常





お知らせ

着信中に他からの着信があった場合、電話機のハンドセット(受話器)を取り上 げて通話中になると通知音で連絡します。

(複数チャネル契約時で「割込音通知」を「使用する」に設定している場合)





お知らせ

- ・電話機ポート1~2に接続された電話機に対して有効です。
- ・この機能を利用する場合、IP端末は使用できません。
- ・着信中に他からの着信があった場合、電話機のハンドセット(受話器)を 取り上げて通話中になっても通知音はありません。(複数チャネル契約時)

優先着信を設定する場合、次の条件があります。

- IP 端末は使用できません。
- ・アナログ端末の割込音通知は使用できません。

1 メニューフレームの「電話設定」 - 「内線設定」をクリックします。

操作フレームに内線設定画面が表示されます。

内緒	躴設	定						ามฮ่ 💽
電話の	の設定	を行います	r.					
[内線 利用	播号 有無	一覧] 内線番号	ニックネーム	端末 国性	優先着信	指定着信	登録状態	設定の削除
5	2	<u>1</u> 2	TEL1 TEL2	アナログ端末(電話機1) アナログ端末(電話機2)		-	-	-
		3	IP phone1		J.	-	-	削除
		<u>4</u>	<u>IP phone2</u>	Ξ	-	-	-	育川除余
E		5	IP phone3	=	-	-	-	再刂隊余
0		<u>6</u>	IP phone4	=	-	-	-	育川除余
		2	<u>IP phone5</u>	=	-	-	-	雨川除
設定		,						



3 設定 をクリックします。

設定が反映されました。 引き続きアナログ端末を設定します。 4 「アナログ端末(電話機1)」をクリックします。

対応する内線設定画面が表示されます。

内線設定	定(アナ	トログ端オ	र)				<u>nuđ</u> 💽
内線設定(ア	ナログ端	末1)の設定を行	元います。				
[内線設定] 内線番号 ニックネーム] 1 						
【ひかり電記 ナンバー・デ	設定] 「ィスブレ・ ァルイン	(使用する	¥				
割込音通知		使用しない					
24 1770411	שאר ראני	9) 4 🗸					
[電話番号該	定]	#	記者信機能				
電話番号	通知番号	号着信番号 6	ーーー 使用する 指定着信番号	。指定な 着信	,着信音通	観	
030000000	۲				IR 🗸		
0300000001	0				IR 🗸		
内線	-	\square	-		SIR 🗸		
設定 戻る							
 [内線番号-	-覧]						
利用有無内	的線番号	ニックネーム	端末属性	優先着信	指定着信	登録状態	設定の削除
	1	TEL1	<u>アナログ端末(電話機1</u>) -	-	-	-
V	2	TEL2	アナログ端末(電話機2) -	-	-	-
V	3	IP phone1	=	-	-	未登録	育川除
V	4	IP phone2	=	-	-	未登録	育川際余
V	5	IP phone3	=	-	-	未登録	育川除余
	<u>6</u>	IP phone4	=	-	-	-	削除
	7	IP phone5	-	-	-	-	削除

5 [割込音通知]を「使用しない」に設定し、[着信番号]を1つ以上選択 します。

● [割込音通知]

複数チャネルご契約時で通話中に着信があったとき、もしくは内線通話中の外 線着信のときに、割込音にて着信を通知するか設定します。

・使用する(初期値)

・使用しない



複数チャネルをご契約の場合の割込音通知設定については、「割込音通 知」 (①② p.89) をご参照ください。

● [着信番号] 契約している電話番号のうち、この端末への着信番号として使用する番号を選択します。 複数の着信番号を選択できます。

初期値として電話番号設定に表示されているすべての番号が選択されています。

6 設定 をクリックします。

設定が反映されました。 引き続きアナログ端末(電話機 2)を設定します。

7 内線設定画面で[アナログ端末(電話機2)]をクリックします。

手順 5 ~ 6 を実行してください。 このとき、着信番号はアナログ電話機(電話機 1) 画面選択したものと同 じものを選択してください。 設定が反映されました。 引き続きひかり電話共通設定を設定します。

8 メニューフレームの「電話設定」-「ひかり電話共通設定」をクリックします。

操作フレームにひかり電話共通設定画面が表示されます。

ひかり電話共通設定	<u>auj</u> 💽
[ひかり電話設定] 音声優先モード 優先着信ボート 無効 M	
[拡張設定] PING応答機能 【使用する ✔	
醸定	

9「優先着信ポート」を選択します。

着信を優先するアナログ端末を選択してください。

● [優先着信ポート]

優先的に着信する電話機ポートを選択します。

- アナログ端末(電話機 1)
 - : 電話機1ポートに接続した電話機を優先的に呼び出します。
- ・アナログ端末(電話機2)
 - :電話機2ポートに接続した電話機を優先的に呼び出します。
- ・無効 :優先着信を行いません。(初期値)

10 設定 をクリックします。

設定が反映されました。

指定着信機能

電話番号に指定着信番号を付加してダイヤルすることで、特定の電話機を直接 呼び出せます。

诵常



電話機2 電話番号 030000000 指定着信番号 2222 外線着信



お知らせ

指定着信番号

・電話機ポート1~2に接続された電話機に対して有効です。

・電話機ポート1~2に接続された電話機のどちらか1つに設定できます。

1 メニューフレームの「電話設定」 - 「内線設定」をクリックします。

操作フレームに内線設定画面が表示されます。

内線設	定						<u> ^uj</u>		
電話の設定を行います。									
[内線番号一覧]									
利用有無	内緑番号	きニックネーム	電子庫性	優先看信	指定着信	登球状態	設定の削除		
¥	<u>1</u>	TEL1	<u>アナログ端末(電話機1)</u>	-	-	-	-		
~	2	TEL2	アナログ端末(電話機2)	-	-	-	-		
2	3	IP phone1			-	-	育川除余		
~	<u>4</u>	IP phone2	=	-	-	-	雨 川除		
~	5	IP phone3	=	-	-	-	頁川除		
	<u>6</u>	IP phone4	Ξ	-	-	-	頁]除		
	7	IP phone5	Ξ	-	-	-	育川除		
設定									
2 設定するアナログ端末の「端末属性」をクリックします。

対応する内線設定画面が表示されます。

内線設	定(アナ	ログ端え	末)				<u>^,,, 7</u>
内線設定C	アナログ端i	末1)の設定を	行います。				
[内線設定 内線番号	1						
ニックネー	ム TEL1						
[ひかり電] ナンバー・ モデムダイ 割込音通知 ダイヤル桁	話設定] ディスプレィ ヤルイン 10 間タイマ(利	 使用する 使用する 使用する 使用する 	> > >				
[電話番号	設定]						
電話番号	通知番 呈	号着信番号 _,	指定着信機能 使用する 指定着信番号	指定な <u>着信</u>	,着信音递	鈬	
030000000	0 0	V			IR 💌		
030000000	1 0	\checkmark			IR 🛩		
内線	-	-	-		SIR 🛩		
設定 戻る	〕 覧 1						
	一見」						
利用有無	内線番号	ニックネーム		優先着信	指定着信	登録状態	設定の削除
	2	TEL 2	<u>アナログ端末(電話機1)</u> アナログ端末(電話機の)	_	_	_	-
V	4	1666					
	3	IP phone1	-	-	-	未登録	育川除
	<u>3</u> 4	<u>IP phone1</u> IP phone2	=	-	-	未登録 未登録	育川F余 育川F余
 	<u>3</u> 4 5	<u>IP phone1</u> <u>IP phone2</u> IP phone3	= =	-	-	未登録 未登録 未登録	
> > >	3 4 5 6	IP phone1 IP phone2 IP phone3 IP phone4	= = = =	-	-	未登録 未登録 未登録 -	削除 削除 削除

3 [指定着信機能 使用する]を選択します。

● [指定着信機能 使用する] 指定着信機能を使用する電話番号を選択します。

お知らせ

電話機ポート1~2に接続された電話機のどちらか1つに設定できます。 他のポートや電話番号で指定着信機能を使用する場合は、一度「使用す る」のチェックを外してください。

4 [指定着信機能 指定着信番号]を設定します。

● [指定着信機能 指定着信番号] 使用する指定着信番号を設定します。(1~19 桁の半角数字)

5 指定着信番号あり/なし両方の着信を受ける場合、 [指定着信機能 指定なし着信]を選択します。

●[指定着信機能 指定なし着信] 指定着信番号あり/なし両方の着信を受ける場合、選択します。

6 設定 をクリックします。

設定が反映されました。

3-4 電話機から設定

本商品に接続された電話機のダイヤル操作で、本商品を設定/操作できます。



操作時の注意

- PB(プッシュボタン)対応の電話機のみ対応です。
 DP(ダイヤルパルス)電話機では操作できません。
- ・ダイヤル操作時にハンドセット(受話器)を置くと、操作は無効となります。 ダイヤル操作時にフッキングしても、引き続き操作できます。
- ・ダイヤル操作時間は 30 秒です。30 秒を超えると受話器から通知音が鳴り、 操作が無効となります。
- ・操作中でも、操作している電話機以外では発着信できます。

3-4-1 操作方法

ここでは、本商品の機能を利用するためのダイヤル操作を紹介します。

機能	概要	参照
ナンバー・ ディスプレイ	電話機に発信者の電話番号が表示されます。 ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。	p. 111
割込音通知	複数チャネルご契約時で通話中に着信があったとき、もしく は内線通話中の外線着信のときに、割込音にて着信を通知し ます。	p. 113
モデム ダイヤルイン	着信した電話番号を、モデム信号として電話機に送信します。	p. 115
再起動	本商品を再起動します。	p. 117



お知らせ

- ・記載されているサービス名称については、変更になる場合があります。
- ・操作方法は、電話機1ポートに接続された電話機に対して設定する方法を紹介しています。
- ・ダイヤル操作によるファームウェアのバージョンアップについては「6本商品のバージョンアップ」(12) p.155)をご参照ください。

ナンバー・ディスプレイ

電話機に発信者の電話番号が表示されます。





お知らせ

- ・ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
 表示方法は電話機の取扱説明書をご参照ください。
- ・電話機によっては、発信者の電話番号などが正しく表示されないことがあ ります。
- ・発信者の電話番号が表示されない場合は、表示されない理由が電話機に表 示されます。

表示内容を確認して電話に出ることができます。

- ・表示内容は、ご使用の電話機によって異なります。 詳しくは電話機の取扱説明書をご参照ください。
- 本機能は、電話機に対してのみ提供可能な機能です。

1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット(受話器)から「ツー」という発信音が聞こえます。



2 ★★★991★91★1## をダイヤルします。

電話機2ポートに接続した電話機に設定する場合は

★★★992★91★1## をダイヤルします。



- 456
- 789
- ()

ハンドセット(受話器)から「ププ、ププ」という発信音が聞こえます。

3 ハンドセット(受話器)を置きます。

設定が反映されました。

4 設定を解除する場合は、手順2で次のダイヤルを操作してください。
 電話機1ポート: ★ ★ 991 ★ 91 ★ 2 # #

電話機 2 ポート: ****992*91*2##

割込音通知

複数チャネルご契約時で通話中に着信があったとき、もしくは内線通話中の外 線着信のときに、割込音にて着信を通知します。

🐠 お知らせ

本機能は、電話機に対してのみ提供可能な機能です。

1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット(受話器)から「ツー」という発信音が聞こえます。



2 * * * 9 9 1 * 9 3 * 1 # # & & &
 & &
 2 * * * 9 9 1 * 9 3 * 1 # # & & &

電話機2ポートに接続した電話機に設定する場合は

★ ★ ★ 9 9 2 ★ 9 3 ★ 1 # # をダイヤルします。



()

ハンドセット(受話器)から「ププ、ププ」という発信音が聞こえます。

3 ハンドセット(受話器)を置きます。

設定が反映されました。

3 設定を解除する場合は、手順2で次のダイヤルを操作してください。
 電話機1ポート: ****991*93*2##
 電話機2ポート: ****992*93*2##

モデムダイヤルイン

着信した電話番号をモデム信号として電話機に送信します。 ファクス付き電話機でファクスと電話を別の電話番号で呼び分けるときに使 います。



お知らせ

- ・モデムダイヤルイン対応の電話機などが必要です。 操作方法は、ご利用される機器の取扱説明書をご参照ください。
- 本機能は、電話機に対してのみ提供可能な機能です。



1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット(受話器)から「ツー」という発信音が聞こえます。



2 ★★★991★92★1## をダイヤルします。

電話機2ポートに接続した電話機に設定する場合は

★★★992★92★1## をダイヤルします。



- 456
- 789
- () () ()

ハンドセット(受話器)から「ププ、ププ」という発信音が聞こえます。

3 ハンドセット(受話器)を置きます。

設定が反映されました。

4 設定を解除する場合は、手順2で次のダイヤルを操作してください。
 電話機1ポート: ★ ★ 9 9 1 ★ 9 2 ★ 2 # #

電話機 2 ポート: ****992*92*2##

再起動

本商品を再起動させます。

- お知らせ
 - ・再起動は内線/外線に関わらず、発着信呼出、通話が終了した時点で始まります。
 - ・再起動中は通話できません。
- 1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット(受話器)から「ツー」という発信音が聞こえます。



2 (*)(*)(*)(9)(9)(#)(#) をダイヤルします。

ハンドセット(受話器)から「ププ、ププ」という発信音が聞こえます。

3 ハンドセット(受話器)を置きます。

本商品が再起動し、セルフテストが始まります。 セルフテストが終了すると、ひかり電話設定情報の取得を始めます。



お知らせ

ダイヤル操作後、60秒以内にハンドセット(受話器)を置かないと、操作が 無効になります。

4 インターネット接続の設定をする

本商品を利用して、インターネットに接続します。 ここでは Windows XP を例に説明します。その他の OS をご利用のお客様は各参照ペー ジをご覧ください。

4-1 設定の流れ

インターネットへの接続設定は、次の手順で行います。

ネットワーク設定の確認

Windows XP (119) Windows 2000 (1119) Windows Me/98SE/98 (1127 p. 182) Mac OS X以降 (1127 p. 184) Mac OS 9.x以前 (1127 p. 185)

接続の確認

Windows XP (11) p.122) Windows 2000 (11) p.186) Windows Me/98SE/98 (11) p.187) Mac OS X以降 (11) p.189) Mac OS 9.x以前 (11) p.190)

本商品の設定(IPp.123)

インターネットへ接続(IP p.129)

4-2 ネットワーク設定の確認

本商品へのアクセスに必要となるパソコンのネットワーク設定を確認します。 パソコンを初期設定でお使いの場合は、ここでの設定は必要ありません。 「4-3 接続の確認」 (『② p.122) へお進みください。

Web ブラウザから本商品にアクセスできない場合、この章を参照してパソコン のネットワーク設定をご確認ください。

お知らせ

本商品は、ご使用のパソコンに対して、自動的にIPアドレスなどのTCP/IPに関連 する設定を行う機能(DHCPサーバ機能)を持っています。ご使用のパソコンで、 IPアドレスやDNSサーバアドレスを自動的に取得できるように設定すれば、本商 品にアクセスできます。

Windows XP の場合

「スタート] → 「コントロールパネル]をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「作業する分野を選びます」から「ネットワークとインターネット接続]の カテゴリをクリックします。

「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。

3 「コントロールパネルを選んで実行します」から[ネットワーク接続]をク リックします。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4 使用するネットワークアダプタ名が表示されている「ローカルエリア接 続]をダブルクリックします。

「ローカルエリア接続の状態」画面が表示されます。



お知らせ

パソコンのLANケーブルが抜けていたり、Ethernetアダプタの動作が有効でな い場合は「ローカルエリア接続の状態」画面は表示されません。

5 プロパティ をクリックします。

[ローカルエリア接続のプロパティ] 画面が表示されます。

➡ ローカル エリア接続のプロパティ ? 🔀
全般 認証 詳細設定
接続の方法
By bearing metalogical demonstration
構成 (<u>C</u>)
この接続は次の項目を使用します(Q):
☑ ■ Microsoft ネットワーク用クライアント
■ ■ Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有

伝述著制御フロトコル/インターネット フロトコル。 相互接続されたさまさまな ネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコ ルです。
□ 接続時(こう通知3員城(こインジケータを表示するへ))
OK (**)セル

6 [インターネット プロトコル (TCP/IP)]を選択し、 プロパティ をク リックします。

[インターネット プロトコル (TCP/IP)のプロパティ]画面が表示されます。

インターネット フロトコル (TCP/IP)のフロパティ 🛛 🕐 🔀
全般(代替の構成)
ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせ てんださい。
● IP アドレスを自動的に取得する(Q)
〇 次の IP アドレスを使う⑤):
IP 7FUZØ:
サブネット マスク(U):
デフォルト ゲートウェイ (①):
● DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)
○ 次の DNS サーバーのアドレスを使う止!:
優先 DNS サーバー(<u>P</u>):
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):
■詳純語改定(<u>2)</u>
OK キャンセル

7 [IP アドレスを自動的に取得する]と、[DNS サーバーのアドレスを自動 的に取得する]を選択し、 OK をクリックします。

[ローカルエリア接続のプロパティ] 画面が表示されます。

8 OK をクリックします。

設定が保存され、有効になります。



お知らせ

本項で説明した手順および画面名称は、「カテゴリ表示」のものです。 「クラシック表示」をご使用の場合は、手順や選択画面の名称が異なります。

4-3 接続の確認

パソコンに割当てられた IP アドレスを確認します。



IPアドレス情報の更新を行っても正しいIPアドレスが割当てられない場合は、 次の点を確認したうえでパソコンの再起動を行ってください。

- ・LANケーブルが正しく接続されているか(LINKランプは点灯しているか)
- TCP/IPプロトコルは正しく設定されているか
 (12) 「4-2 ネットワーク設定の確認」 p. 119)
- ・LANカードなどが正しく取り付けられ、設定されているか

Windows XP の場合

1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト]をクリックします。

[コマンド	プロンプト	画面が表示されます。
-------	-------	------------

 コマンド プロンプト 	□ ×
Windows IP Configuration	•
Host Name	
Ethernet adapter ローカル エリア接続:	
Connection-specific DNS Suffix .: Description	-
IP Address	
Default Gateway :	
C:¥	
	•

2 「ipconfig /all」と入力し、Enter キーを押します。

TCP/IPの設定内容が「IP Address」の行に表示されます。

3 パソコンに割当てられた IP アドレス情報が正しくない場合は、「ipconfig /release」と入力し、Enter キーを押した後で、「ipconfig /renew」と入力 し、Enter キーを押します。

IP アドレスが更新されます。

4-4 本商品の設定

本商品のインターネット接続設定を行います。

本商品のインターネット接続設定は、付属のRV-230SE 専用 CD-ROM に 収録の「まるごと設定ツール」を利用して簡単に設定できます。(12) 別冊 「最初にお読みください」)

ここでは「まるごと設定ツール」を使用せずに、Web ブラウザからの設定方法 を説明します。



お知らせ

・本商品へアクセスする場合は、パソコンの設定を行ったうえで、Webブラウザ からアクセスしてください。「8-1 パソコンのネットワーク設定」(12) p. 179)

・Webブラウザは下記のバージョンに対応しています。

<Windows XP/2000/Me/98SE/98の場合>

・Microsoft Internet Explorer Ver.6.0 SP1以上(日本語版)

<Macintosh(Mac OS X以降/Mac OS 9.x以前)の場合>

・Microsoft Internet Explorer Ver.5.1以上(日本語版)

お願い

ひかり電話の使用中(内線通話を含む)は、登録など本商品の再起動を伴う操作 はできない場合があります。

1 Web ブラウザを起動します。

2 Web ブラウザのアドレス欄に下記のアドレスを入力し、Enter キーを押し ます。

http://ntt.setup/

∨ → 移動 - リンク **>** アドレス(D) (参) http://ntt.setup/



お知らせ

http://192.168.1.1/でもアクセスできます。

機器設定用パスワードの初期設定画面が表示されます。

🚰 RV-230SE – Microsoft Internet Explorer	_ FX
ファイル(ビ) 編集(ビ) 表示(い) お気に入り(ム) ツール(ロ) ヘルグ(U)	AU.
PFUZ@ (Mittp://nttsetup/	 No <li< th=""></li<>
機器設定用パスワードの初期設定	<u>aut</u> 💽 🍐
本電品は、第三者による不適のアクセスや設定変更を防止するため、器器設定用パスワードを入力してはじめてアクセスできるよう パスワードに使用できるのは322×31/kの手角変換文字いの*3&=6/6Kがめみです。 ※本商品を設定するためのパスワードです。プロバイダから供給されるパスワードではありません。	になっています。
【機器設定用/1スワードの初期設定】 / パスワード	
バスワード再入力	
EE.	
20 パージが表示されました	● インターネット

※ご使用の Web ブラウザや OS のバージョンによって画面表示は異なりますが、 入力が必要な項目は同じです。



お知らせ

機器設定用パスワードの初期設定画面は、本商品に初めてアクセスしたとき のみ表示されます。 初期設定終了後はパスワード入力画面(『※ p.67)が表示されます。

3 パスワードおよびパスワード再入力を入力します。

任意でパスワードを入力してください。 入力したパスワードはメモしておいてください。

パスワード



お知らせ

- ・ここで入力するパスワードは、本商品にアクセスするためのパスワードです。
 プロバイダから提供されたパスワードではありません。
- ・32文字以内の半角英数文字および記号が使用できます。
 ただし、
 と
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※
 ※<
- 大文字と小文字は区別されます。
- ・パスワードおよびパスワード再入力欄の入力文字は、すべて「●」や「*」
 に置き換わって表示されます。
- ・パスワード再入力欄で異なるパスワードを入力した場合は、エラー画面が表示されます。入力操作をやり直してください。
- ・空白にすることはできません。
 また、スペースのみで設定することもできません。

4 設定 をクリックします。

設定ウィザード画面が表示されます。

RV-230SE – Microsoft Internet Explorer	. Px
ファイル(生) 編集(生) 表示(い) お気に入り(金) ツール(土) ヘルブ(生)	RU .
アドレス(1) 🕘 http://ntl.setup/ogi-bin/main.ogi	🖌 🔁 移動 リンク
設定ウィザード	<u>nuz</u> 💽
設定ウィザードでは、接続に必要な最低限の設定を行います。	
接続先の設定を行います。 メーループールデー利用にたる場合は、ゴロルドノゼルに提供された情報を入力してください。	
[接続先の設定] 接続先ユーザ名 接続パスワード	
[フレッツ・スグウェア接続] フレッツ・スグウェア 設置する M	
BE .	
6) ページが表示されました	 ① インターネット

5 インターネットを利用される場合、接続先ユーザ名および接続パスワー ドを入力します。

プロバイダとの契約書などを参考に入力してください。 接続先ユーザ名: ****@****. ne. jp など

6 「フレッツ・スクウェア接続」を設定します。

フレッツ・スクウェア接続をご利用になる場合は「設定する」を、ご利用 にならない場合は「設定しない」を選択してください。

7 設定 をクリックします。

本商品が自動的に再起動をはじめます。

お知らせ

ひかり電話使用中、および使用後の一定時間は、設定後の再起動ができない 場合があります。

ひかり電話の使用後、一定時間が過ぎてから本商品を再起動してください。



8 本商品前面のアラームランプが消灯しているのを確認し、再表示を クリックします。

パスワード入力画面が表示されます。

ntt.setup に接続	?×
PA -	GF.
ユーザ名には"user"を入け	ħ
ユーザー名(山):	2
パスワード(<u>P</u>):	
	□パスワードを記憶する(<u>R</u>)
	OK キャンセル

※ご使用の Web ブラウザや OS のバージョンによって画面表示は異なりますが、 入力が必要な項目は同じです。

ユーザー名およびパスワードを入力します。

ユーザー名:USer パスワード:手順3で設定したパスワード

ntt.setup に接続	?×
PA -	GIA
ユーザ名には"user"を入り	'n
ユーザー名(山):	🖸 user 💌
パスワード(円):	*c*okok
	□ パスワードを記憶する(<u>B</u>)
	OK キャンセル



stop お願い

パスワードを忘れた場合は、「8-3 本商品の初期化」(12) p. 193)を参照 し、初期設定に戻してご使用ください。

10 OK をクリックします。

本商品の管理メニューが表示されます。

RV-230SE – Microsoft Internet E	xplorer						_ 6
MF/ル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り	(白) ツール(1)	ヘルプ田)					リンク ³⁰
レス(1) 🗃 http://ntt.setup/							>
() NTT R V-2305E	接続	た設定					<u>auz</u> 💽
 基本設定 ■ <u>接続先設定</u> ■ 電話設定 ■ 無線LAN関連 ■ 詳細設定 メンテナンス 	複数の相 通常の過 ます。 接続先の [接続先	線先先と同時に接線 信に(はメインセッ)設定を変更また(追加する(こは、空 の選択設定]	売するよう設定す ションを使用し、† す削除するには、 対欄の番号をクリ:	ることができます。 旨定した特定の条件に一致し 番号をクリックしてください。 ックしてください。	た場合のみ	セッション	/2~5を使用し
3 情報	接続可	接続先選択	接続先名	接続方法	UPnP優先	状態	操作
		メインセッション			۲		
		セッション2			0		
	¥	セッション3	FletsSquare Eas	要求時接続(自動切断する)	0	停止中	接続
		セッション4			0		
		<u>セッション5</u>			0		
	(10 m)						
	ag. AE						
くージがあテキわキした	1						a 1.12-201

以上でインターネット接続設定は終わりです。 Web ブラウザを閉じてください。

4-5 インターネットへ接続

Web ブラウザを起動してインターネットへ接続します。

1 Web ブラウザを起動します。

2 インターネット上のホームページにアクセスします。

例:http://www.ntt.co.jp/

アドレス(D) 🧉 http://www.ntt.co.jp/ 🛛 🖌 移動 リンク 🌺

ホームページが正しく表示されない場合は、各周辺機器が正しく接続され ているか、設定が間違えていないかご確認ください。

5 無線LANのご利用について

本商品はオプション品の無線 LAN カード「SC-32SE」を装着することで無線 LAN のアクセスポイントとして動作します。

5-1 設定の流れ

無線 LAN の設定は次のような手順で設定します。

(😰 p. 145)

5-2 無線LANカードの取り付け

オプション品の無線LANカード「SC-32SE」を装着することで、無線LAN 通信ができます。

stop お願い

- ・SC-32SE以外の無線LANカードは装着しないでください。
- ・無線LANカードは、必ず本商品の電源を切った状態で抜き差ししてください。
- ・無線LANカードには装着方向があります。 無理に装着しようとすると破損します。

1 電源アダプタを電源コンセントから抜きます。

本商品の電源が切れます。

2 本商品の上面にある無線 LAN カードスロットに、無線 LAN カード(SC-32SE)を装着します。



無線LAN関係の設定については「5-3無線LAN設定」(Î (p. 133) をご参照く

ださい。

お知らせ



5-3 無線LAN設定

5-3-1 接続の確認

本商品がSC-32SEを正しく認識しているか確認します。



お知らせ ここでは本商品にSC-32SEが装着されていることを前提に説明します。 装着方法については「5-2 無線LAN カードの取り付け」 (12) p.131) をご参照くだ さい。

1 本商品にアクセスします。

「4-4本商品の設定」(IP p. 123)

2 本商品に装着しているSC-32SEの PWR ランプおよび LINK ランプが 同時に点滅していることを確認します。



3 メニューフレームの、「情報」 - 「現在の状態」をクリックします。 現在の状態画面が表示されます。 4 [無線 LAN 状態]が「通信中」となっていることを確認します。

	現在の状態		
	[商品情報]		
	MACアドレス(WAN) MACアドレス(LAN)	N/30/18-00 N/30/18-01	
	[無線情報]		
$\left[\right]$	無線LANK能	通信中	
	mine F 無線ネットワーク名(SSID MACアドレス(無線) 暗号化モード 加入台数		
	[機器状態情報]		
	PPPoEの状態		
	[メインセッション(ISP1)] PPPの状態	A:2209	
	[メインセッション(ISP1)] リンク状態	#L+	
	WAN	#89 000Aux 2.78	
	LAN1	#29 (100Aut 2	
	LAN2 LAN3	810	
	LAN4	82.0	
	ハードウェア状態	19	

5-3-2SSID の公開

無線ネットワーク名(SSID)を公開する方法を説明します。 SSIDの広告を開始し、無線端末からの探索に応答します。

別 お知らせ

無線ネットワーク名(SSID)を公開した場合、無線セキュリティの観点から、子 機側の設定後必ず隠蔽してください。(🕼 「5-3-3 SSID の隠蔽」 p. 143)

1 本商品にアクセスします。

「4-4本商品の設定」(Le p. 123)

2 メニューフレームの、「無線 LAN 関連」 – 「無線 LAN 設定」をクリック します。

操作フレームに無線 LAN 設定画面が表示されます。

3 [無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽]を「しない」に設定します。

無線LAN	設定 <u>ヘルプ</u> 💽
[無線LANアク 無線LAN 無線ネットワー 無線ネットワー (ANY接続拒否	7セスボイント設定] 使用する マ - ク名(SSID)の隠蔽 しない マ
無線動作モー 使用チャネル 送信出力 Super AG 無線優先制御 MACアドレスコ	ド IEEEB02.11e/IEEEB02.11b互換 ▼ 7 ▼ 100% ▼ 使用する(圧縮なし) ▼ 機能 使用する ▼ 7 √ 100% ▼ (使用する)(上端なし) ▼
[暗号化] 無線の暗号化	
[拡張設定] マルチキャスト BeaconInterva DTIM(回)	-(伝送速度(Mbps) 1 ・ aKms) 100 1
設定	
● [無線 Li 無線 Li ・使用 ・使用	AN] AN 機能を使用するか選択します。 する(初期値) しない
	お知らせ 無線LAN機能の使用する/使用しないを切り替えると、無線LANを一時的 に停止、再開したときに、各端末で無線LANに関する設定を再度やり直 す必要がなくなります。
● [無線ネ 無線 L 初期値 (XXXX 入力し	・ットワーク名(SSID)] AN を識別するための名称を、32 文字以内の半角英数字で入力します。 には、「RV230SE-XXXXX」が設定されています。 XX は WAN 側 MAC アドレスの下の 6 桁)。 た SSID はメモしておいてください。
SSID _	
	お知らせ ・本商品と無線LANに接続するすべての無線端末を同じESSID/SSIDに設 定してください。 ・英字の大文字と小文字は区別されます。
	・本商品側面ラベルには、SSIDのデフォルト値が記載されています。

- [無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)] 他の無線端末から、本商品を隠蔽します。「する」を選択した場合は、SSID の 広告を停止し、無線端末からの探索にも応答しません。
 - ・する(初期値)
 - ・しない
- [無線動作モード]

動作モードを選択します。

初期値には、「IEEE802.11g/IEEE802.11b 互換」が設定されています。

- ・IEEE802.11a 固定
- IEEE802.11g/IEEE802.11b 互換(初期値)
- IEEE802.11g 固定

STOP お願い

「IEEE802.11a固定」モードで使用する5.2GHz帯域は、電波法により屋内 使用に限定されています。本モードで動作させる場合は、屋外で使用し ないでください。



お知らせ

- 「IEEE802.11a固定」および「IEEE802.11g固定」を選択すると、 指定した規格に対応した無線LANカードのみと通信できます。
- 「IEEE802.11g/IEEE802.11b互換」を選択すると、同一無線LAN内で、 IEEE802.11gおよびIEEE802.11bに対応した無線LANカードを利用でき ます。

● [使用チャネル] 無線 LAN 通信に使用する周波数を選択します。

[動作モードが IEEE802.11a 固定のとき]

・チャネル 36 (5180MHz)、チャネル 40 (5200MHz)、チャネル 44 (5220MHz)、 チャネル 48 (5240MHz)

お知らせ

複数の無線LANを狭いエリアで同時使用する場合は、それぞれに異なる 周波数を割当てないと、無線干渉が発生して、通信速度が遅くなること があります。その場合、なるべく別のチャネルを使用してください。

[動作モードが IEEE802.11g/IEEE802.11b 互換、IEEE802.11g 固定のとき]
 ・チャネル1 (2412MHz)、チャネル2 (2417MHz)、チャネル3 (2422MHz)、チャネル4 (2427MHz) チャネル5 (2432MHz)、チャネル6 (2437MHz)、チャネル7(2442MHz)、チャネル8(2447MHz)チャネル9(2452MHz)、チャネル10(2457MHz)、チャネル11 (2462MHz)、チャネル12 (2467MHz)、チャネル13 (2472MHz)



お知らせ

複数の無線LANを狭いエリアで同時使用する場合は、それぞれに異なる 周波数を割当てないと、無線干渉が発生して、通信速度が遅くなること があります。その場合、なるべく各チャネル同士は5チャネル以上の間 隔をあけて使用してください。(1、6、11など)

● [送信出力]

本商品の送信出力を調整します。他のネットワークへの電波干渉回避の目的で 使用します。

- ·100%(初期値)
- 50%
- · 25%
- 12%
- 6%

• [Super AG]

Super AGを使用するかどうかを選択します。

Super AG は、IEEE802.11g および IEEE802.11a 準拠の無線区間を高速化する技 術です。Super AG を使用することにより IEEE802.11g および IEEE802.11a 準拠 の無線区間の通信速度が速くなることがあります。

ステーションが Super AG に対応していない場合でも、通常の IEEE802.11g/ IEEE802.11a で接続できます。

- ・使用しない
- ・使用する(圧縮なし)(初期値)
- ・使用する(圧縮あり)

お知らせ

- ・使用する無線端末やサーバの環境や能力、周囲の電波環境などにより 通信速度が速くならないこともあります。
- ・「使用する(圧縮あり)」を選択した場合、圧縮技術を使用するため、 TEXTファイルなど、圧縮効果の高いファイルを転送する場合に有効で すが、すでに圧縮されているデータを転送する場合、通信速度が遅く なることがあります。
- [無線優先制御機能]

無線優先制御機能を使用するか設定します。

- ・使用する(初期値)
- ・使用しない
- [MAC アドレスフィルタリング機能]

MAC アドレスフィルタリング機能を 使用するかしないかを設定します。 「使用する」に設定した場合には、本商品は「MAC アドレスフィルタリング」で 設定してある MAC アドレスを持つ無線 LAN 端末とのみ、無線 LAN 接続できます。 ・使用する

- ・使用しない(初期値)
- [無線の暗号化]

無線 LAN での暗号の使用可否や、使用する暗号の種類について指定します。

- なし(初期値)
- WEP
- WPA-PSK (TKIP)
- WPA-PSK (AES)

WPA-PSK (TKIP/AES) を選択する

[無線の暗号化] に「WPA-PSK (TKIP)」または「WPA-PSK (AES)」を選択し た場合の設定項目を説明します。



お知らせ

- ・使用する暗号化モードおよび事前共有キー(PSK)は、本商品と無線 LAN へ接続しているすべての無線端末で同一に設定してください。
- 「WPA-PSK (AES)」を選択すると、「WPA-PSK (TKIP)」を選択する場合より
 も通信速度が低下する場合があります。

	無線LAN設定		<u> ~117</u>		
	 [無線LANアクセスポイント設定] 無線ネットワーク名(SSID) 無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽 (ANY接続拒否) 無線動作モード 使用チャネル 送信出力 Super AG 無線優先制御機能 MACアドレスフィルタリング機能 	使用する RV230SE- しない IEEE802.11e/IEEE802.11b互換 7 100% 使用する(圧縮なし) 使用しない 使用しない マ			
C	[暗号化] 無線の暗号化 WPA-PSK(TK) 事前共有キー(PSK) キー更新間隔 1800 (秒)				
	[拡張設定] マルチキャスト伝送速度(Mbps) 1				
	設定				

● [事前共有キー (PSK)]

WPA-PSK (TKIP/AES)の暗号化に使用する事前共有キーを設定します。 8 文字以上、63 文字以内の半角英数字および記号を入力します。大文字、小文 字は区別されます。[*]のみのキーは設定できません。 WPA-PSK (TKIP/AES)を使用するアクセスポイントとそれぞれのステーションに は、同じキーを設定します。(本商品に設定したキーは設定直後のみ参照できま すが、次向からはセキュリティのため*******で表示されます)



- お知らせ
 - ・使用する暗号化モードおよび事前共有キー(PSK)は、本商品と無線 LANへ接続しているすべての無線端末で同一に設定してください。
 - ・WPA-PSK (TKIP/AES) で使用する事前共有キー (PSK) は、Windows XP またはステーションの設定ユーティリティでは、「プリシェアード キー(Pre Shared Key)」、「事前共有鍵」、「パスワード」などと呼 ばれています。
- [キー更新間隔]
 WPA-PSK (TKIP/AES) では、事前共有キーを元に暗号化に使用する暗号キーを定 期的に自動生成し、共有します。更新間隔を秒単位で入力します。
 入力範囲は 60~86400 です。(初期値: 1800)
- [マルチキャスト伝送速度 (Mbps)]
 マルチキャストフレームの伝送速度を設定します。

IEEE802.11a 固定選択時	IEEE802.11g/ IEEE802.11b 互換選択時	IEEE802.11g 固定選択時
 使用しない 6 9 12 18 24 (初期値) 36 48 54 	 使用しない 1 (初期値) 2 5.5 6 9 11 12 18 24 36 48 54 	 使用しない 1 2 5.5 6 9 11 12 18 24(初期値) 36 48 54

- [Beaconinterval (ms)] Beacon 間隔を 20~1000ms の範囲で入力します。(初期値:100ms)
- [DTIM (回)]

DTIM(delivery traffic indication message)しきい値を 1~255 回の範囲で入 カします。(初期値:1) 定期的に送信しているパケットに DTIM が含まれる頻度を設定します。

4 設定 をクリックします。

設定内容が保存されます。

別 お知らせ

再起動を促すメッセージが表示された場合、以下の手順に従って設定を反映 させるために再起動してください。

5 再起動画面へ をクリックします。

再起動画面が表示されます。

再起動	<u>~uj</u>
現在の接続を一旦切断した後、機器を再起動します。	
[再起動]	

設定を保存し再起動が完了した時点で、設定した内容に従って本商品が動作 します。

6 再起動 をクリックします。

お知らせ

本商品の再起動中画面が表示され、本商品が再起動します。

再起動	<u>nuj</u> 💽
アラームランプがシ削灯すれば、再起動は完了です。再表示ポタンをクリックして、画面を再表; 	示してください。
再表示	
が知らせ	

・再起動中は、Webブラウザで本商品にアクセスすることはできません。

・ひかり電話使用中、および使用後の一定時間は、設定後の再起動から本 商品を再起動できない場合があります。 ひかり電話の使用後、一定時間が過ぎてから本商品を再起動してください。

7 アラームランプが消灯すれば再起動は完了です。再表示 をクリック し、本商品に再度アクセスします。
5-3-3SSIDの隠蔽

SSID を隠蔽します。

SSIDの広告を停止し、無線端末からの探索にも応答しません。

1 メニューフレームの、「無線 LAN 関連」 - 「無線 LAN 設定」をクリック します。

操作フレームに無線 LAN 設定画面が表示されます。

2 [無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽]を「する」に設定します。

	無線LAN設定		<u>~uj</u>
	[無線LANアクセスボイント設定]		
	無線LAN	使用する 🖌	
	無線ネットワーク名(SSID)	RV230SE-	
	無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽 (ANY接続拒否)	<u>जि</u>	
T	無線動作モード	IEEE802.11g/IEEE802.11b互換 ❤	
	使用チャネル	7 🗸	
	送信出力	100% 🕶	
	Super AG	使用する(圧縮なし) マ	
	無線優先制御機能	使用する 🗸	
	MACアドレスフィルタリング機能	使用しない V	
	無線の暗号化 WPA-PSK(TK)		
	事前共有キー(PSK) abcdefghijk		
	キー更新間隔 1800 (秒)		
	「拉碼設定]		
	マルチキャスト伝送速度(Mbne) 1	~	
	BoscopInton/a(ma)		
	設定		

3 設定 をクリックします。

設定内容が保存されます。



(の))) お知らせ

再起動を促すメッセージが表示された場合、以下の手順に従って設定を反映 させるために再起動してください。

4 再起動画面へ をクリックします。

再起動画面が表示されます。





お知らせ 設定を保存し再起動が完了した時点で、設定した内容に従って本商品が動作 します。

5 再起動 をクリックします。

本商品の再起動中画面が表示され、本商品が再起動します。

再起動	
アラームランブが消灯すれば、再起動は完了です。再表示ボタンをクリックして、画面を再表示	もしてください。
[再表示]	



お知らせ

- ・再起動中は、Webブラウザで本商品にアクセスすることはできません。
- ・ひかり電話使用中、および使用後の一定時間は、設定後の再起動から本 商品を再起動できない場合があります。 ひかり電話の使用後、一定時間が過ぎてから本商品を再起動してください。
- 6 アラームランプが消灯すれば再起動は完了です。再表示をクリックし、本商品に再度アクセスします。

5-3-4 無線 LAN の確認

無線 LAN が正しく動作しているか確認します。

1 本商品に装着しているSC-32SEの PWR ランプおよび LINK ランプが 同時に点滅していることを確認します。





お知らせ 点滅状況は、ご使用の環境により異なります。

遅い点滅:接続中(データを送受信していない) 早い点滅:接続中(データの送受信中)

5-4 パソコンに無線LANカードを設定する

5-4-1インストール

無線LAN カード(SC-32SE)をパソコンで使用するには、SC-32S Eの「ドライバ」と「ユーティリティ」と呼ばれるソフトウェアをパソコンに インストールする必要があります。

インストールには、SC-32SEに付属の「SC-32SE 専用 CD-ROM」 を使用します。SC-32SE 専用 CD-ROM では、「ドライバ」および「ユー ティリティ」を同時にインストールします。ここでは、Windows XP を例に設定 方法を説明します。



お願い

- ・指示があるまではカードをパソコンの PC カードスロットへ挿入しないでください。
- Windows の「管理者」(Windows 2000 では「Administrator」)の権限を持つ
 ユーザー名でログインしてください。
- ・インストール完了後にパソコンを再起動するため、起動中のソフトウェアがある 場合は、データなどを保存してから、そのソフトウェアを終了させてください。
- ・インストール時に本商品以外の無線ユーティリティが起動している場合は、その無線ユーティリティを終了させてください。
- ・本商品以外の無線LANカードのドライバがインストールされていると、正しく インストールできない場合があります。

1 SC-32SE 専用 CD-ROM をパソコンにセットします。

[SC-32SE Utility セットアップへようこそ] 画面が表示されます。

SC-32SE Utility – InstallShie	ld Wizard	\mathbf{X}
EL.	SC-32SE Utility セットファンヘようこそ このつわりつんは、SO-92SE Utilityをコンドニーは、パノトールします。この セットファン・フロックムを第行する前に、すべてのWindowsフロンラムを終 アすることを推奨します。	
	< 戻る(B) 次へ(Q)> キャンセル	כ



お知らせ

画面が表示されない場合は、[スタート] → [マイコンピュータ]をクリック(Windows 2000の場合は、デスクトップにある[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリック)して、<math>[SC-32SE] アイコンをダブルクリックしてください。それでも画面が表示されない場合は、CD-ROM内のファイルが表示されますので、<math>[setup. exe] アイコンをダブルクリックしてください。

2 次へ をクリックします。

[セットアップ方法] 画面が表示されます。



3 次へ をクリックします。

ドライバのインストール経過画面の表示後、「SC-32SE カードを PCMCIA ス ロットに挿入して下さい。」とメッセージが表示されます。



snop お願い

キャンセルはクリックしないでください。

クリックすると、パソコンの動作が不安定になる恐れがあります。クリック した場合は、最初からインストールをやり直してください。

4 画面内容をご確認のうえ、SC-32SEをパソコンへ装着します。

しばらくすると、 [InstallShield Wizard の完了] 画面が表示されます。



5 完了 をクリックします。

パソコンが自動的に再起動します。以上でインストールは完了です。



お知らせ

[新しいハードウェアの検索ウィザード開始] 画面が表示されることがあります。 その場合、画面の指示に従って操作してください。

5-4-2インストール完了の確認

ここでは、ドライバとユーティリティが正しくパソコンにインストールされた かを確認する方法を説明します。

ここでは、Windows XP を例に説明します。

【スタート】→ [マイコンピュータ]を右クリックし、表示されるメニューから[管理]をクリックします。

mama	
インターネット Internet Explorer () 電子メール Outlook Express	 マイドキュメント マイ ピクチャ マイ ミュージック マイ コンピュータ 耐く(Q) エクスプローラ⊗
	1(東米)ビー。 管理(型) ネットワークドライブの切断(型 オットワークドライブの切断(型 デスクトップに表示(空) 名前の変更(M) プロパティ(R) (東本) ファイル名を指定して実行(R)
すべてのブログラム(型) 📡	本製品をご購入のお客様へ
	₽ ログオフ(L) [0] 終了オプション(L)

が お知らせ

Windows 2000の場合

デスクトップ上の[マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、表示され るメニューから[管理]をクリックします。 [コンピュータの管理]画面が表示されます。

お知らせ

表示される内容は、ご使用の環境により異なります。



2 [デバイスマネージャ]をクリックします。

登録されている機器の一覧が表示されます。



3 「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。

登録されているネットワークアダプタの一覧が表示されます。



4 「SC-32SE」をダブルクリックします。

SC-32SEの詳細情報が表示されます。

SC-32SE	のプロパティ	?×		
全般調	解職定 ドライバ 副	羊細 リソース		
	SC-32SE			
	デバイスの種類	ネットワーク アダプタ		
	製造元:	NTTEAST.NTTWEST		
	場所:	CardBus スロット 3 (PCI バス 2, デバイス 0, 機能 0)		
ーデバイン	この状態			
このデ	バイスは正常に動作し	বেখের 📐		
このディイスショロ経動があるであっては、「トラブルフェーティング」をクリックしてトラブル ジューティングを開始してください。				
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
トラブルシューティング①				
デバイスの使用状況(型):				
このデバイスを使う (有効)				
		OK キャンセル		

5 「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認 します。

表示されていない場合は、 トラブルシューティング をクリックして、 画面の指示に従って対処してください。

以上で、インストールの確認は終了です。

5-4-3 無線アクセスポイントへの無線接続

周囲の無線アクセスポイントを検索して、接続することができます。 無線アクセスポイント側で SSID を隠蔽する設定にしている場合は、本商品か ら無線アクセスポイントを検索できません。



お知らせ

あらかじめ無線アクセスポイントは設定をして、電源が入った(接続可能)状態 にしておいてください。

1 タスクバーの通知領域にある 🏢 を右クリックします。

メニューが表示されます。

お知らせ

通知領域にアイコンがない場合は、[スタート] → [すべてのプログラ ム](Windows 2000では[プログラム]) → [SC-32SE Utility] → [SC-32SE Utility]の順にクリックしてください。通知領域に 🎹 が表示されます。

SC-32SE Utility を開く	1

2 「SC-32SE Utility を開く」をクリックします。

[SC-32SE Utility] 画面が表示されます。

3 [設定管理]タブをクリックします。

SC-32SE Utility			\mathbf{X}
動作 オクション・ハーション 青帽			
機器情報 設定管理 グラ表示 統計情報			
設定名	Default		新規作成
SC-32SF			編集
			削除
₩ × ##	動作モード: 暗号化: SSID(ネットワーク名) 1: SSID(ネットワーク名) 2:	インフラストラクチャ 無効 〈空白〉 〈空白〉	
電波の強さ:未接統	SSID(ネットワーク名) 3 :		もな無線LAN

4 利用可能な無線 LAN をクリックします。

[利用可能なアクセスポイントおよびアドホックネットワーク]画面が表示されます。

利用可能なアクセスポイントおよ	:びアドホックネットワーク		_			X
	SSID(ネットワーク名)	(C)	信号強度	チャネル	無線動作モード	~
SC-32SE	L RV230SE-501 BF9	-	페 100 % 리 41 %	7 11	2.4 GHz 54 Mbps 2.4 GHz 54 Mbps	
	I willing I willing	ದರಿ ಬರಿ	표 11 52 %	2 6	2.4 GHz 54 Mbps 2.4 GHz 54 Mbps	
	L selled L selled	6 6 7	표 67 % 비 26 %	3 1	2.4 GHz 54 Mbps 2.4 GHz 54 Mbps	
Ь×Д	1 million 1 million	13 13	山 41 % 山 60 %	6 11	2.4 GHz 54 Mbps 2.4 GHz 11 Mbps	
	1 mm	6	1]] 52 % -1]] 41 %	13 3	2.4 GHz 54 Mbps 2.4 GHz 54 Mhns	~
16.xc 0/38 0 · 未預約	無線LANIC接続	行る	情報の夏	新	ОК	

5 接続したい SSID(ネットワーク名)をクリックして、 無線 LAN に接続す る をクリックします。

[設定の作成・編集] 画面が表示されます。

6 「設定名」欄に名称、「SSID」欄にSSID(ネットワーク名)を入力します。

設定の作成・編集		\mathbf{X}
全般 暗号化設定 詳細設定		
CC 22CE	設定名:	NTT
5L-325E	SSID(ネットワー	ク名)の設定
	SSID1:	RV230SE-501 BF9
	SSID2:	
×	SSID3	
		OK キャンセル



- お知らせ
 - ・無線アクセスポイント側でSSID(ネットワーク名)を隠蔽する設定が行われている場合は、SSID(ネットワーク名)が見えなくなります。
- ・SSIDは、無線アクセスポイントの設定をご確認ください。

お願い

無線LAN通信の暗号化の設定をする場合は「SC-32SE 取扱説明書」を ご参照ください。

7 OK をクリックします。

8 画面上で電波の強さが「未接続」となっていないことを確認します。

以上で無線アクセスポイントへの無線接続は完了です。



- ・無線アクセスポイントで暗号化が設定されている場合は、SC-32SE
 でも同じ暗号化を設定してください。暗号化の設定方法は、「SC-32
 SE 取扱説明書」をご参照ください。
- ・無線LANのセキュリティ設定を行っていない場合は、第三者により通信の内容を盗み見られることや、お客様のパソコンに不正に侵入される可能性があります。無線アクセスポイントのセキュリティに関する設定をご確認のうえ、暗号化をご使用になることをお勧めします。
- ・SC-32SEはIEEE802.11a(W52)/g準拠の無線区間を高速化する技術 (Super AG)に対応しています。本商品は無線アクセスポイントがSuper AG に対応している場合に、無線アクセスポイントのSuper AG設定を自動判別 して動作します。なお、使用するパソコンやサーバの環境や能力、周囲の 電波環境などにより通信速度が速くならない場合があります。

6 本商品のバージョンアップ

6-1 ファームウェアの更新

本商品は「バージョンアップお知らせ機能」により、自動的に最新のファーム ウェアを確認する機能があります。

ファームウェアとは

ファームウェアとは、本商品の基本的な動作を制御するために組み込まれたソ フトウェアのことです。

ファームウェアをバージョンアップすることで、本商品の機能を向上すること ができます。また、ご利用のひかり電話サービスによっては、古いファームウェ アのままお使いいただくと、一部機能が正常に動作しない可能性もあります。 常に最適な状態で機器をご使用いただくために、最新のファームウェアにバー ジョンアップしながらご使用いただくことをお勧めします。

バージョンアップお知らせ機能とは

本商品の電源投入時、および定期的(1日1回)に、当社のバージョンアップ お知らせ用サーバと通信を行い、最新のファームウェアの有無を自動確認します。 最新のファームウェアを確認した場合は、以下の方法でお客様に通知します。

・電話機からの音でお知らせする(12) p. 157)

本商品に接続された電話機のハンドセット(受話器)を取り上げた際に、通 知音が変わります。(「ピーピーピーピー」という音が DT 音(「ツー」) の前に送出されます。)

ただし、電源投入時に最新のファームウェアを確認した場合は、お客様に通 知することなく、本商品が自動的にファームウェアを更新します。 バージョンアップお知らせ機能の流れ





② ハンドセット(受話器)から「音」でお知らせ



③ 簡単操作でバージョンアップ



6-1-1ファームウェアの確認

最新のファームウェアが確認されたとき、本商品に接続された電話機やファク スなどのハンドセット(受話器)を取り上げた際に、通知音が変わります。 (「ピーピーピーピー」という音が DT 音(「ツー」)の前に送出されます。)



通知音が変わったら、最新のファームウェアを本商品にダウンロードしてください。 (🕼 p. 158)



- お知らせ
 - ・通知音が送出されていても、通常の発信はできます。
 ・ファームウェアの更新が終了すると、通知音は停止します。

6-1-2 電話機から手動更新

最新のファームウェアを電話機の操作で本商品にダウンロードします。



お知らせ

- ・プッシュホン設定(PB)の電話機で操作できます。
- ・ダイヤルパルス設定(DP)の電話機では操作できません。 本商品を再起動することでも、自動的にファームウェアを更新できます。
- ・ひかり電話使用中、および使用後の一定時間は、本商品のファームウェアの更 新は実行されません。使用後から一定時間が過ぎてから、ファームウェアの更 新が実行されます。

また、ファームウェア更新の要求後に、ひかり電話を一定時間以上継続して使 用している場合は、ファームウェア更新が実行されないことがあります。ひか り電話の使用後、一定時間が過ぎてから再度ファームウェアの更新を実行して ください。

本商品に接続した電話機のハンドセット(受話器)を取り上げて、
 ★ ★ ★ 1 1 をダイヤルします。





ダイヤル直後にハンドセット(受話器)から「ププ、ププ」と音がします。

2 音が聞こえたらハンドセット(受話器)を置いてください。

3 ファームウェアのダウンロードが始まります。



しばらくするとアラームランプ(赤色)と初期状態ランプ(橙色)が同時 に点滅します。



お願い このとき、本商品の電源は切らないでください。

故障の原因となります。

4 ダウンロードが終了すると、自動的に本商品が再起動します。

電源ランプが点灯し、アラームランプが消灯していれば、本商品は正常に 動作しています。



ひかり電話ランプと登録ランプが点灯していれば、ひかり電話をご利用できます。



お知らせ

- ・ファームウェアの更新が終了すると、通知音は停止します。
- ・ネットワークやサーバの状態によっては、最新のファームウェアの確認や ダウンロードに失敗する場合があります。
- ファームウェアのダウンロード中、および再起動中は絶対に本商品の電源を 切らないでください。故障の原因となります。
- ・ファームウェアの更新処理中はひかり電話はご利用できません。

6-1-3 Web 設定画面から自動更新

最新のファームウェアを検知したとき、本商品が自動でファームウェアを更新 します。



- ・通常は「バージョンアップお知らせ機能」を使用して最新ファームウェアの
 確認、バージョンアップをしてください。(10) p. 155)
- ・説明に使用している画面は、ご使用のWebブラウザやOSのバージョンによって 異なりますが、手順や入力する内容は変わりません。
- ・ひかり電話使用中、および使用後の一定時間は、本商品のファームウェアの更 新は実行されません。使用後から一定時間が過ぎてから、ファームウェアの更 新が実行されます。

また、ファームウェア更新の要求後に、ひかり電話を一定時間以上継続して使 用している場合は、ファームウェア更新が実行されないことがあります。ひか り電話の使用後、一定時間が過ぎてから再度ファームウェアの更新を実行して ください。

1 本商品にアクセスします。

(『② 「3-3 パソコンから設定」 p. 64)

メニューフレームの、「メンテナンス」 - 「ファームウェア更新」を クリックします。

操作フレームにファームウェア更新画面が表示されます。



3 「自動アップデート」の方法を設定します。

お知らせ 初期値は「手動更新」が設定されています。

- ・即時更新:バージョンアップお知らせ機能で最新のファームウェアがあったことを確認後、すぐに自動的にバージョンアップを実行します。
 更新確認 をクリックした場合は、最新のファームウェアが公開されていても、バージョンアップは実行されない場合があります。
 すぐにバージョンアップを実行したい場合は、ファームウェア更新 を クリックしてください。
- ・定時更新:バージョンアップお知らせ機能で最新のファームウェアがあったことを確認後、設定した定時更新時間から59分間の間に自動的にバージョンアップを実行します。
 実行する時刻(00:00~23:00)を設定してください。
- ・手動更新:バージョンアップお知らせ機能で最新のファームウェアがあったことを Web 画面、または「電話機のハンドセット(受話器)を取り上げた際の音」でお知らせします。 バージョンアップは、「Web 設定画面からの手動更新」または電話機から実行します。

4 設定 をクリックします。

設定が反映されました。

設定した内容で、ファームウェアを自動更新します。

ファームウェア更新	<u>~ju</u> đ
変更を反映しました。 [現在のバージョン] 現在のファームウェアバージョン	

ゅ お願い

自動更新中はファームウェアをフラッシュメモリに書き込みます。書き込み 中は、前面のアラームと各ランプが点滅します。ランプの点滅が終わるまで は、本商品の電源を切らないでください。フラッシュメモリへの書き込み中 に電源を切ると、本商品が動作しなくなります。

6-1-4Web 設定画面から手動更新

バージョンアップお知らせ機能(12) p. 155)や、自動更新(12) p. 161)に よるファームウェアの更新ができないとき、LAN ポートに接続したパソコンか ら、手動でファームウェアのバージョンアップができます。



お知らせ

- ・通常は「バージョンアップお知らせ機能」を使用して最新ファームウェアの 確認、バージョンアップをしてください。(① 20 p. 155)
- ・説明に使用している画面は、ご使用のWebブラウザやOSのバージョンによって 異なりますが、手順や入力する内容は変わりません。
- ・ひかり電話使用中、および使用後の一定時間は、本商品のファームウェアの更 新は実行されません。使用後から一定時間が過ぎてから、ファームウェアの更 新が実行されます。

また、ファームウェア更新の要求後に、ひかり電話を一定時間以上継続して使 用している場合は、ファームウェア更新が実行されないことがあります。ひか り電話の使用後、一定時間が過ぎてから再度ファームウェアの更新を実行して ください。

1 本商品にアクセスします。

(12) 「3-3 パソコンから設定」p.64)

メニューフレームの、「メンテナンス」 - 「ファームウェア更新」をク リックします。

操作フレームにファームウェア更新画面が表示されます。

ファームウ	ट7更新
[現在のバージョ 現在のファームウ	ン] ロアバージョン
[ファイル指定] ファームウェアの ファームウェアフ ファームウェア気 シァームウェア転 終わるまでは機器 いでください。	ファイル名・ディレクトリ名には、全角文字及び半角カナが使用できないことがあります。 マイル []登覧] 送後、自動的にフラッシュメモリへの書き込みを行います。書き込み中を表すランプの点灯が の電源を切らないでください。また、バージョンアップ中はWebアクセスなどの操作も行わな
フラッシュメモリ⁄ 更新	への書き込み中に電源を切ると、機器が動作しなくなります。
	2]
○即時更新	更新がある場合は即時に更新を実行します。 即時更新では任意の時間に通信が遮断されます。
○定時更新	更新がある場合は指定された時間から 18時間以内に更新を実行します。 今時本事をは見
⊙手動更新	と町文本前で町) 更新がある場合は本画面よりファームウェア更新操作を行うか、 もしくは電話機からのPB操作(***11)により更新を実行します。
設定	
	、] 」ェア状態: 新しい更新はありません。
更新確認	

3 更新確認 をクリックします。

当社サーバ上に最新のファームウェアを検知した場合、次のようなメッ セージが表示されます。

[自動アップデート] 現在のファームウェア状態: 新しい更新があります。 電話が使用されていない事を確認の上、ファームウェア更新を実施してください。

ファームウェア更新

4 ファームウェア更新 をクリックします。

バージョンアップが開始され、完了すると自動的に再起動します。

ファームウェア更新

ファームウェアの更新処理を開始しています。

ひかり電話通話中の場合には、通話終了(アナログ電話の場合はオンフック)後、一定時間経過してから更新 ファームウェアのダウンロードを開始します。

フラッシュメモリへの書き込みを行います。書き込み中は前面ランプが点灯します。点灯が終わるまでは、機器の電源を切らないでください。機器が動作しなくなることがあります。また、ダウンロード中はWebの操作も行わないでください。

アラームランプが消灯すれば、再起動は完了です。再表示ボタンをクリックして、画面を再表示してください。

再表示



お願い

ファームウェアをフラッシュメモリに書き込みます。書き込み中は、前面の アラームと各ランプが点滅します。ランプの点滅が終わるまでは、本商品の 電源を切らないでください。フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切る と、本商品が動作しなくなります。

6-1-5 ファイルを指定して手動更新

バージョンアップお知らせ機能(『② p.155) や、自動更新(『③ p.161) に よるファームウェアの更新ができないとき、当社ホームページからファーム ウェアをダウンロードして、接続したパソコンから手動でファームウェアの バージョンアップができます。



- お知らせ
 - ・通常は「バージョンアップお知らせ機能」を使用して最新ファームウェアの
 確認、バージョンアップをしてください。(12) p. 155)
 - ・説明に使用している画面は、ご使用のWebブラウザやOSのバージョンによって 異なりますが、手順や入力する内容は変わりません。

1 最新のファームウェアを当社ホームページからダウンロードします。

http://www.ntt-east.co.jp/ced にアクセスしてください。

2 最新のファームウェアをパソコン上の適当なディレクトリ(フォルダ)に 置きます。



ファームウェアファイルのディレクトリ(フォルダ)名には半角英数記号文 字を使用し、全角文字および半角カナを使用しないでください。ファームウェ アのバージョンアップができないことがあります。

3 本商品にアクセスします。

(『? 「3-3 パソコンから設定」 p. 64)

4 メニューフレームの、「メンテナンス」 – 「ファームウェア更新」を クリックします。

操作フレームにファームウェア更新画面が表示されます。

	ファームウェア更新
	[現在のバージョン] 現在のファームウェアバージョン
(ファール指定] ファームウェアファルルー ファームウェアファル/ 「優照」 ファームウェア転送後 自動的にフラッシュメモリへの書き込みを行います。書き込み中を表すランプの点灯が 終わるまでは機器の電源を切らないでください。また、バージョンアップ中はWebアクセスなどの操作も行わな いでください。
	フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、機器が動作しなくなります。
	(更新)
	[アップデート設定] ○即時更新 更新がある場合は即時に更新を実行します。 即時更新では任意の時間に通信が遮断されます。
	○定時更新 更新がある場合は指定された時間から 1時間以内に更新を実行します。 定時更新時間
	◎手動更新 更新がある場合は本画面よりファームウェア更新操作を行うか、 もしくは電話機からのPB操作(***11)により更新を実行します。
	〔設定〕
	[自動アップデート] 現在のファームウェア状態: 新しい更新はありません。
	夏新確認

5 参照 をクリックします。

[ファイルの選択] 画面が表示されます。

ファイルの選択					?×
ファイルの場所型:	🞯 デスクトップ		•		
 最近使ったファイル デスクトップ マイ ドキュメント マイ ニンビュータ マイ ネットワーク 		.dlm			
	ファイル名(<u>N</u>): ファイルの種類(II):	 すべてのファイル (*.*	x)	•	開(@) キャンセル

6 ファームウェアファイルを選択し、 開く をクリックします。

ファームウェア更新画面に戻ります。

7 更新 をクリックします。

確認画面が表示されます。

Microsof	t Internet Explorer 🛛 🗙
?	ファームウェアのバージョンアップを開始します。 書き込み中を表すランプの点派が終わるまでは機器の電源を切らないでください。 ファームウェアの書き込みが完了すると、自動的に再起動を行います。 よろしいですか?
	OK

8 OK をクリックします。

バージョンアップが開始され、完了すると自動的に再起動します。

再起動	<u> ~uj</u>
アラームランプが消灯すれば、再起動は完了です。再表示ボタンをクリックして、画面を再	遠示してください。
[再表示]	

stop お願い

ファームウェアをフラッシュメモリに書き込みます。書き込み中は、前面の アラームと各ランプが点滅します。ランプの点滅が終わるまでは、本商品の 電源を切らないでください。フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切る と、本商品が動作しなくなります。

)))))))

お知らせ

本商品には、補助記憶装置としてフラッシュメモリを内蔵しています。各種 設定内容やファームウェアは、フラッシュメモリに書き込むことで電源供給 が途切れても内容が保持されます。

7 故障かなと思ったら

トラブルが発生した場合には、以下の点を確認して障害箇所を明確にしてから、 本章をお読みください。

- ・本商品前面にあるランプの点灯、点滅状態を確認(以下の確認手順を参照) ・電話機やファクスがご使用できることを確認





(**三三**): 無線LAN使用時にご確認ください。



(**三三**): 無線LAN使用時にご確認ください。

現象:電源ランプが点灯しない

- 原因:本商品に電源が供給されていません。
- 対処:電源アダプタが本商品に接続されていることをご確認ください。
- 対処:電源アダプタが電源コンセントに確実に接続されていることをご確認くだ さい。
- 対処:電源コンセントに電源が来ている(通電している)ことをご確認ください。
- 対処:本商品用の電源アダプタであることをご確認ください。
- 対処:電源アダプタのコードが破損していないかご確認ください。

現象:アラームランプが赤色に点灯する

原因:ファームウェアの更新中です。 対処:仕様であり故障ではありません。

30 お知らせ

更新中は初期状態ランプが同時に点灯します。(Lev p. 159)

- 対処:約15分間待っても消灯しない場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。
- 原因:本商品の故障が考えられます。
- 対処:お問い合わせ窓口にご相談ください。(〔② p.218)

現象:FAIL ランプが赤色に点灯する

対処:約15分間待っても消灯しない場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。

原因:本商品の故障が考えられます。

対処:お問い合わせ窓口にご相談ください。(〔② p.218)

現象:VDSL ランプが緑色に点灯しない

- 原因: VDSL LINE ポートが正しく接続されていません。
- 対処:本商品の VDSL LINE ポートが、モジュラーケーブルで正しく接続されていることをご確認ください。(〔② p.36)
- 対処:本商品と同時にインラインフィルタに接続した電話機をお使いの場合、電話機とインラインフィルタが正しく接続されているかご確認ください。
- 原因:本商品の故障が考えられます。
- 対処:30 秒間以上継続して消灯しているときは、接続を確認し本商品の電源を入れ直してください。 電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。 現象が改善されない場合は、本商品の故障が考えられます。 お問い合わせ窓口にご相談ください。 (〔20 p.218)

現象:ACT ランプが緑色に点灯しない

原因: VDSL LAN カバー内のケーブル接続がされていません。 このときひかり電話の機能と内蔵のルータ機能は利用できません。 対処:お問い合わせ窓口にご相談ください。(『≷ p 218)

現象:登録ランプが緑色に点灯しない

原因:ひかり電話設定情報の取得に失敗しています。

対処:各周辺機器との接続が正しいことを確認し、本商品を再起動してください。 (12) p. 36、194)

現象:登録ランプが赤色に点灯/点滅している

原因:ひかり電話設定情報の取得に失敗しています。

対処:各周辺機器との接続が正しいことを確認し、本商品を再起動してください。 (12) p. 36、194)

現象:ひかり電話ランプが緑色に点灯しない

- 原因:機器が正しく接続されていません。
- 対処:各機器の電源が入っている状態で、正しく接続されていることをご確認く ださい。(『② p.36) 機器が正しく接続がされていることを確認いただいた後、しばらくしても 現象が改善されない場合は、お問い合わせ窓口にご相談ください。 (『② p.218)

現象:本商品背面の LINK ランプが緑色に点灯しない

- 原因:機器が正しく接続されていません。
- 対処:各機器の電源が入っている状態で、正しく接続されていることをご確認く ださい。(1207 p.36)

現象:初期状態ランプが橙色に点滅する

- 原因: IP アドレスが重複しています。
- 対処:ご使用のパソコンの取扱説明書を参照し、IP アドレスを変更してください。
- 原因: LAN 側 IP アドレスとひかり電話の IP アドレスが重複しています。
- 対処: Web 設定画面の「LAN 側設定」で「LAN 側 IP アドレス」を変更してください。 (『② 「機能詳細ガイド」 p. 17)

現象:PPP ランプが消灯している

- 対処:Web 設定画面の「接続先の選択設定」で、接続したい接続先の「接続可」に チェックが入っているか、ご確認ください。 (
 し) 「機能詳細ガイド」 p.17)
- 対処:Web 設定画面の「接続先設定」で、接続したい接続先の情報(接続先ユーザ 名、接続パスワード)が入力されているか、ご確認ください。 (
 (
)
)
 (
)
 (
)
)
 (
)
)
 (
)
)
- 対処:Web 設定画面の「接続先設定」で、「接続モード」を「要求時接続」に設定 している場合、パソコンからインターネット接続を開始するまで、PPP ラン プは消灯したままです。(12) 「機能詳細ガイド」 p.17)

現象:パスワードを忘れた

対処: 「8-3 本商品の初期化」(①② p.193)を参照して初期状態に戻し、再起動してからアクセスし、もう一度、パスワードを設定してください。

現象:本商品の IP アドレスを忘れた

- 対処:「http://ntt.setup/」でアクセスができます。
- 対処: 「8-3 本商品の初期化」(『② p.193)を参照し、本商品を初期状態に戻した状態でアクセス(192.168.1.1)してください。

現象:Web ブラウザで本商品へのアクセスができない

原因:パソコンに適切な IP アドレスが割当てられていません。

- 対処:パソコンの IP アドレスを確認し、適切でなければ IP アドレス情報を更新 してください。(『シア 「8-1-2 IP 設定の確認」 p. 186)
- 対処:本商品の他に DHCP サーバが存在する場合は、該当装置の DHCP サーバ機能 を停止してください。
- 原因:本商品が起動中です。
- 対処:本商品の起動完了を確認してから、再度アクセスしてください。
- 原因:Web ブラウザが正しく設定されていません。
- 対処:お使いの Web ブラウザがプロキシを使用しない設定になっていることをご 確認ください。
- 対処:お使いの Web ブラウザが JavaScript を使用する設定になっていることをご 確認ください。
- 対処:お使いの Web ブラウザがダイヤルしない設定になっていることをご確認く ださい。
- 原因:本商品との通信ができない状態になっています。
- 対処:本商品を再起動してください。
- 対処:パソコンを再起動してください。

現象:電話機のハンドセット(受話器)からいっさい音が聞こえない

原因:ご使用の電話機と本商品を接続している電話機コードが抜けています。

対処:ご使用の電話機が本商品に正しく接続されていることを確認し、電話機の 電源を入れてください。(12) p.36)

現象:ハンドセット(受話器)を取り上げると「ピーピーピーピー」と音がする

原因:ファームウェア更新があることを通知しています。 対処:ファームウェアを更新してください。(〔2) p. 155)

現象:通話中に「プップッ・・・」と音がする

原因:キャッチホンを認識しています。 対処:キャッチホンを受けてください。(🕼 p.56)

現象:ダイヤルしたが、「現在使われていません」というメッセージが聞こえる

原因:電話番号を間違えている可能性があります。 対処:一旦ハンドセット(受話器)を置き、相手先電話番号をお確かめのうえ、 再度ダイヤルしてください。(12) p.46)

現象:ひかり電話が使用できない

- 原因:ひかり電話で発信できない番号です。
- 対処:ひかり電話に対応した電話番号かご確認ください(IP p.49)
- 原因:接続された電話機が、ホームテレホンの内線電話機や ISDN 対応電話機であ る場合や、電話機の ACR 機能が動作している場合は正しく動作しないこと があります。
- 対処:ご使用の電話機をご確認ください
- 原因:電源を切ってすぐに電源を入れた場合、6 分~10 分程度、利用できないこ とがあります。
- 対処:そのまましばらくお待ちいただき、改善しない場合は、本商品の電源を再 度入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてく ださい。

現象:ファームウェアの更新ができない

- 原因:ひかり電話使用中、および使用後の一定時間はファームウェアの更新はで きません。
- 対処:使用後、一定時間が経過してから更新してください。
- 原因:既に最新のファームウェアに更新されている場合や、本商品の再起動中は 更新できません。
- 対処:再起動が終了するのを待って、更新してください。

現象:無線 LAN カードの PWR ランプおよび LINK ランプが点滅していない

原因:無線LAN カードに電源が供給されていないことが考えられます。 対処:無線LAN カードが確実に装着されていることをご確認ください。



STOP お知らせ

無線LANカードは、必ず本商品の電源を切った状態で抜き差ししてください。

現象:無線端末から本商品(アクセスポイント)に接続できない

- 原因:本商品と通信先との間の距離が離れすぎています。
- 対処:本商品と無線端末を近づけてください。使用環境によっては、通信可能範 囲が狭くなる場合があります。
- 原因:アクセスポイント、無線端末の設定が正しく行われていないことが考えら れます。
- 対処:すべての無線端末の動作モードがインフラストラクチャモードになってい ることをご確認ください。
- 対処:次に関する設定値を、すべてのアクセスポイントおよび無線端末で同じ設 定にしてください。
 - ・ネットワーク名 (ESSID または SSID)
 - ・WPA-PSK、WEPの使用/不使用、および使用するパスワードまたはWEP キーの値 ・本商品の MAC フィルタ設定
- 原因:無線LAN カードが無線LAN アクセスポイントとして動作していないことが 考えられます。
- 対処:無線 LAN 設定画面の「無線 LAN」が「使用する」になっていることをご確認 ください。 (『② 「5-3 無線 LAN 設定」 p. 133)
- 対処:無線LANの設定内容が適切に設定されていることをご確認ください。 (『२ 「5-3 無線 LAN 設定」 p. 133)

現象:前回はできたのにインターネット接続ができない

- 原因:接続先設定の変更などに伴い、本商品内に保存されているドメイン情報が クリアされた可能性があります。
- 対処:パソコンを再起動してください。 再起動後、「8-1-2 IP 設定の確認」(『② p.186)をご覧のうえ、パソコ ンの IP アドレスを確認してください。
- 対処:パソコンに割当てられている IP アドレス、DNS アドレスを再取得してくだ さい。 パソコンのコマンド プロンプトから [ipconfig/release] と入力し、Enter キーを押した後で、「ipconfig/renew」と入力し Enter キーを押します。

その後、「8-1-2 IP 設定の確認」(『② p.186)をご覧のうえ、パソコン の IP アドレスを確認してください。
8 付録

8-1 パソコンのネットワーク設定

本商品へのアクセスに必要となるパソコンのネットワーク設定について記述 します。Web ブラウザから本商品にアクセスできない場合、この章を参照して パソコンのネットワーク設定をご確認ください。



お知らせ

Windows XPをご利用のお客様は「4-2 ネットワーク設定の確認」(『② p.119) をご参照ください。

8-1-1 TCP/IP の設定

本商品にアクセスするために、接続するパソコンの Ethernet インタフェース に対して、正しく TCP/IP プロトコルの設定を行います。 ここでは、TCP/IP の設定方法についてご使用の 0S ごとに説明します。

が お知らせ

本商品は、ご使用のパソコンに対して、自動的にIPアドレスなどのTCP/IPに関連 する設定を行う機能(DHCPサーバ機能)を持っています。ご使用のパソコンで、 IPアドレスやDNSサーバアドレスを自動的に取得できるように設定すれば、本商品 にアクセスできます。

パソコンを初期設定でお使いの場合は、ここでの設定は必要ありません。 「8-1-2 IP設定の確認」(12) p.186) へお進みください。

Windows 2000 の場合

【 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル]をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「ネットワークとダイヤルアップ接続]のアイコンをダブルクリックします。

「ネットワークとダイヤルアップ接続]画面が表示されます。

3「ローカルエリア接続」のアイコンをダブルクリックします。

「ローカルエリア接続 状態] 画面が表示されます。



別 お知らせ

パソコンのLANケーブルが抜けていたり、Ethernetアダプタの動作が有効でな い場合は「ローカルエリア接続 状態] 画面は表示されません。

4 プロパティ をクリックします。

「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されます。

ローカル エリア接続のプロパティ ?! ×			
全般			
接続の方法			
B) Interfet PROVIDE MT Namesh Convertion			
構成②			
チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています(型):			
☑ ■ Microsoft ネットワーク用クライアント			
□ Similaruson ネットラーン用ファイルとクソフタ共有 図 Si インターネット フロトコル (TCP/IP)			
- 説9月 伝送老師師プロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまな ネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコ ルです。			
□ 接続時にタスク バーにアイコンを表示する 200			

5 [インターネット プロトコル (TCP/IP)]を選択し、 プロパティ をク リックします。

[インターネット プロトコル (TCP/IP)のプロパティ]画面が表示されます。

インターネット プロトコル(TCP/IP)のプロパティ	? ×
全般	
ネットワークでこの機能がサポートされている きます。サポートされていない場合は、ネッ てください。	5場合は、IP 設定を自動的に取得することがで トワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせ
● IP アドレスを自動的に取得する(Q)	
C XO IF Y FVX & X D	
IP アドレスの:	
サブネット マスク(山):	
デフォルト ゲートウェイ (<u>D</u>):	
 DNS サーバーのアドレスを自動的に 	.取得する(<u>B</u>)
○ 次の DNS サーバーのアドレスを使う)(<u>E</u>):
優先 DNS サーバー(<u>P</u>):	
(Ptt pain II II' (r)	
17番 DNS サーバー(型):	
14度 DVP ユーパー(型):	↓

6 [IP アドレスを自動的に取得する]と、[DNS サーバーのアドレスを自動 的に取得する]を選択し、 OK をクリックします。

[ローカルエリア接続のプロパティ] 画面が表示されます。

7 閉じる をクリックします。

設定が保存され、有効になります。

Windows Me/98SE/98の場合

1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル]をクリックします。

[コントロールパネル] 画面が表示されます。

2 [ネットワーク]のアイコンをダブルクリックします。

[ネットワーク] 画面が表示されます。

λットワ−ク ?×
ネットワークの設定 識別情報 アクセスの制御
現在のネットワーク コンボーネント(N):
(首切(A)
優先的にログオンするネットワーク(1):
Microsoft ネットワーク クライアント
ファイルとプリンタの共有(E)
説明 TCP/IP は、インターネットや WAN への接続に使用するプロトコルです。
OK キャンセル

3 [TCP/IP -> (使用するネットワークアダプタ)]を選択し、 プロパティ をクリックします。

[TCP/IPのプロパティ] 画面が表示されます。

TCP/IPのプロパティ ? ×
バインド 詳細設定 NetBIOS DNS 設定 ゲートウェイ WINS 設定 IP アドレス
IP アドレスは DHOP サーバーによって自動的にこのコンピュータに割り当てら れます。ネットワークが自動的に IP アドレスを割り当てない場合は、ネットワ ーク管理者がアドレスを割り当てます。この場合はアドレスを入力してくださ い。
● PFレスを自動的に取得(Q)
C IP アドレスを指定(S)
IP アドレス(型)
サブネット マスク(血):
<u> </u>

4 [IP アドレスを自動的に取得]を選択し、 OK をクリックします。

再起動を促すメッセージがパソコン上に表示されます。 再起動後に、設定内容が有効となります。 Macintosh (Mac OS X以降)の場合

1 アップルメニュー(()) → [システム環境設定]をクリックします。

[システム環境設定] 画面が表示されます。

2 [インターネットとネットワーク]から[ネットワーク]のアイコンをクリックします。

[ネットワーク] 画面が表示されます。 (画面は Mac OS X version 10.1.5です。)

場所: 自動		•
: (内蔵 Ethernet	•	
TCP/IP PPPoE A	AppleTalk プロ:	キシ
設定: DHCP サーバを参照	+	
	ドメインネー	ムサーバ (オブション)
IP 7 81.7		
(DHCP サーバから割り当てられます))	
(DHCP サーバから割り当てられます) サプネットマスク:)	
リントレイから割り当てられます) サプネットマスク: ルータ:) 検索ドメイン	(オプション)
(OHCP サーバから割り当てられます) サブネットマスク: ルータ: HCP クライアント ID:) 検索ドメイン	(オブション)
(Dirt b / (So Sho B) 3 (So A # y) サブネットマスク: ルータ: HCP クライアント ID: (オブション)) 検索ドメイン 例:apple.co.it	(オブション) 。 earthlink.net
(Dirty やっ(から着り当てられます) サブネットマスク: ルータ: HCP クライアント ID: (オブション) :thernet アドレス:00:0a:27:e2:30:a0) 検索ドメイン 例:apple.co.jr	(オブション) o. earthlink.net

3 [内蔵 Ethernet]、[DHCP サーバを参照]を選択し、画面を閉じます。

[保存の確認] 画面が表示されます。

お知らせ

設定内容に変更がない場合は、[保存の確認] 画面は表示されません。 そのままご使用ください。

4 はい をクリックします。

設定が保存され、有効になります。

Macintosh (Mac OS 9.x 以前)の場合

1 P_{y} します。

[TCP/IP] 画面が表示されます。

(画面は Mac OS 9.0.4 です。)

	TCP/IP	E
Γ	輕曲先: Ethernet ♀	
	■ 設定:法: DHCP サーバを参照 ◆	
	IP アドレス: <サ-バを参照>	
L	サブネットマスク: <サーバを参照>	
	ルータアドレス: <サーバを参照>	
	*-ムサーバアドレス: <サーバを参照> ┃ 	
	2	J

2 [Ethernet]、[DHCP サーバを参照]を選択し、画面を閉じます。

[保存の確認] 画面が表示されます。



お知らせ

設定内容に変更がない場合は、[保存の確認]画面は表示されません。 そのままご使用ください。

3 はい をクリックします。

設定が保存され、有効になります。

8-1-2 IP 設定の確認

お願い

パソコンに割当てられた IP アドレスを確認します。

STOP

IPアドレス情報の更新を行っても正しいIPアドレスが割当てられない場合は、次の点を確認したうえでパソコンの再起動を行ってください。

- ・LANケーブルが正しく接続されているか(LINKランプは点灯しているか)
- TCP/IPプロトコルは正しく設定されているか
 (1) 「8-1-1TCP/IPの設定」 p. 179)
- ・LANカードなどが正しく取り付けられ、設定されているか

Windows 2000 の場合

[コマンド プロンプト] 画面が表示されます。

2 「ipconfig /all」と入力し、Enter キーを押します。

TCP/IPの設定内容が「IP Address」の行に表示されます。

🖾 אליכם אין	_ 🗆 🗡
Windows 2000 IP Configuration	<u> </u>
Host Name	
Ethernet adapter ローカル エリア接続:	
Connection-specific DNS Suffix .: Description LAN Card Physical Address 00-80-88-81-00-10 DHCP Enabled	
Autoconfiguration Enabled res IP Address	
Default Gateway	
C:¥>	-

3 パソコンに割当てられた IP アドレス情報が正しくない場合は、「ipconfig /release」と入力し、Enter キーを押した後で、「ipconfig /renew」と入力 し、Enter キーを押します。

IP アドレスが更新されます。

Windows Me/98SE/98の場合

1 [スタート] → [ファイル名を指定して実行]をクリックします。

[ファイル名を指定して実行] 画面が表示されます。



2 入力欄に「winipcfg」と入力し、OK をクリックします。

[IP 設定] 画面が表示され、TCP/IP の設定内容が表示されます。

🖙 IP 設定		_ 🗆 X
- Ethernet アダプタ情報-		
	Ethernet Card	-
アダプタ アドレ	ス diD-mD-diD-diD-f手-d/#	
IP アドレ	ス 192.168.1.2	
,	2 255.255.255.0	
デフォルト ゲートウェ	1 192.168.1.1]
ОК	解放(S) 書き	奥之(<u>N</u>)
すべて解放(<u>A</u>)	すべて書き換え(W) 詳細	(<u>M</u>) >>

3 使用するネットワークアダプタを選択します。

[IP 設定] 画面が表示され、TCP/IP の設定内容が表示されます。

4 パソコンに割当てられた IP アドレス情報が正しくない場合は、

🧐 IP 設定 - 🗆 🗵 Ethernet アダプタ情報 Ethernet Card • 00-00-00-00-78-08 アダプタ アドレス IP アドレス 192.168.1.2 サブネット マスク 255.255.255.0 デフォルト ゲートウェイ 192.168.1.1 OK 解放(S) 書き換え(N) すべて解放(A) すべて書き換え(W) 詳細(M)>>

解放 → 書き換え の手順で更新します。

Macintosh (Mac OS X以降)の場合

1 アップルメニュー(()) → [システム環境設定]をクリックします。

[システム環境設定] 画面が表示されます。

2 [インターネットとネットワーク]から[ネットワーク]のアイコンをクリックします。

[ネットワーク] 画面が表示されます。 (画面は Mac OS X version 10.1.5です。)

: 内蔵 Ethernet	÷
TCP/IP PPPoE A	ppleTalk プロキシ
設定: DHCP サーバを参照	•
	ドメインネームサーバ (オフション)
IP アドレス:192.168.1.2 (DHCP サーバから割り当てられます) サノイットマスク:255.255.255.0	
ルータ:192.168.1.1	検索ドメイン (オプション)
DHCP クライアント ID: (オプション)	
	例:apple.co.jp、earthlink.net

3 IP アドレスなどが正しく表示されていることを確認します。

お知らせ

Mac OSの場合、コマンドを使ってIPアドレス情報を更新することはできません。 LANケーブルを抜き差しするか、パソコンを再起動してください。

Macintosh (Mac OS 9.x 以前)の場合

1 アップルメニュー(彙) → [コントロールパネル] → [TCP/IP]をクリックします。

[TCP/IP] 画面が表示されます。 (画面は Mac OS 9.0.4 です。)

	TCP/IP (設定	Ethernet)		
経由先: (一恐定	内截Ethernet	\$		
	DHCP サーバを参照	\$		
DHCP 254726 D:				
IP アドレス:	192.168.1.2			
サブネットマスク:	255.255.255.0			
ルータアドレス:	192.168.1.1			
ネームサーバアドレス:	192.168.1.1		検索ドメイン名:	
0				





お知らせ

Mac OSの場合、コマンドを使ってIPアドレス情報を更新することはできません。 LANケーブルを抜き差しするか、パソコンを再起動してください。

8-2 無線IP端末の設定

本商品の無線 IP 端末の設定情報を作成します。

この設定情報は、ひかり電話に対応した無線 IP 端末などの無線 LAN の設定に 利用できます。

1 まるごと設定ツールを起動します。

[スタート] → [すべてのプログラム] → [RV-230SE まるごと設定ツール] → [まるごと設定ツール]をクリックします。(Windows 2000 は [スタート] → [プログラム] → [RV-230SE まるごと設定ツール] → [まるごと設定ツール])

2 「設定を開始する」をクリックします。

設定する内容を選択しましょう画面が表示されます。

3 「無線 LAN 子機の設定をする」を選択し、次へ をクリックします。 接続確認画面が表示されます。

設定する内容を選択しましょう	NTT 🕐
●設定するメニューを下から選んでボタンをクリックしましょう。	
 インターネットと無線LANの設定をする (インターネット股定と無線LAN股定を連続して行います) 	
 インターネットのみの設定をする (無線LAN設定を行いません) 	
 無線LANのみの設定をする (インターネット設定は行いません) 	
④ 無線LAN子機の設定をする (本商品がすでに設定済みで、無線LAN子機を追加する場合に選びます)	
選択したら[次へ>>] ボタ	アンをクリックします。 次へ >>

- 5 「機器設定用パスワード」を入力し、次へ をクリックします。 無線 LAN 設定メニュー画面が表示されます。
- 6 次へ をクリックします。
- 7 「無線 LAN 設定情報の作成をする」を選択し、次へをクリックします。 無線 LAN 設定情報作成のための準備をしましょう画面が表示されます。

無線LAN設定メニュー	NTT 🔘
●無線LAN子機の設定内容を選んでボタンをクリックしましょう。 「無線LAN設定情報」は通常 無線LAN設定を行うと自動的に作 ここで作成や削除を行うことができます。	「成されますが、
○ 無線LANカードの設定をする	
● 無線LAN設定情報の作成をする	
○ 無線LAN設定情報の削除をする	
選択したら	次へ>>] ボタンをクリックします。 次へ >>

8 画面内の内容を確認し、次へ をクリックします。

無線 LAN 設定情報の作成完了画面が表示されます。

9 終了 をクリックします。

無線 LAN 設定情報が作成されます。

8-3 本商品の初期化

本商品に保存された全設定を初期化し、工場出荷時の状態に戻します。

- VDSL LINE ポートに接続しているモジュラーケーブルを外します。
 「2-2 本商品の接続」(〔② p. 36)をご参照ください.
- 2 本商品に電源を入れた状態で、本商品背面にある <u>初期化スイッチ</u> を約 10 秒間押下します。

前面の各ランプが点滅します。

STOP お願い

お知らせ

アラームランプが消灯するまで、本商品の電源を切らないでください。



爪楊枝などの先端の細い棒状のものをご使用ください。



アラームランプが消灯すると初期設定で再起動します。

お知らせ

- ・再起動が完了したあとも初期化スイッチを押し続けると、本商品は再起動を 繰り返します。
- ・本商品を当社に返却される場合は、手順2が完了した状態でご返却ください。
- ・引き続き、本商品をご使用される場合は、VDSL LINEポートにモジュラーケー ブルを接続してください。

8-4 電源の入れ直し

本商品の電源を入れ直します。

電源の入れ直しは、ひかり電話の契約内容を変更された場合に行います。

💵 お知らせ

・電源を入れ直している間は通話、発着信ができません。

・ダイヤル操作による再起動は「再起動」(12) p.117)をご参照ください。

1 電源アダプタをコンセントから引き抜きます。

本商品の電源が切れます。



2 10 秒以上時間をあけて、電源アダプタをコンセントに差し込みます。

セルフテストが始まります。

セルフテストが終了すると、ひかり電話設定情報の取得を始めます。



8-5 無線LANの暗号化モードと暗号化方式

本商品で実現できる無線 LAN の暗号化モードは「WPA-PSK」、「WEP」の2種類 です。

暗号化モードとセキュリティ強度の関係は次のようになります。

暗号化モード	暗号化方式
WPA-PSK	「事前共有キー」に基づいて、セッション単位に暗号化キーを変更し ます。また、同ーセッション内でも定期的に暗号化キーを変更します。 AES : WEP や TKIP より強力な、暗号アルゴリズムを使用します。 TKIP : WEP と同じ暗号アルゴリズムを使用します。
WEP	暗号キーとして「WEP キー」と呼ばれる文字列を使用します。 文字列の長さを「152bit」「128bit」「64bit」の3種類から選択します。

セキュリティの強度



8-6 ひかり電話以外のサービスとの同時利用

ひかり電話以外のサービスとの同時利用方法について説明します。

8-6-1「050IP 電話」との同時利用

プロバイダが提供する「IP 電話サービス(050 番号を利用する IP 電話サービス、以下「050IP 電話」)」とひかり電話を同時利用する場合、次のように接続してください。

IP 電話アダプタを利用

IP 電話アダプタ(VoIP アダプタ)と本商品を、下記のとおり接続した場合の み動作確認をしています。それ以外の機器構成でのご利用は推奨しません。



お知らせ

IP 電話アダプタのバージョンアップ方法は、IP 電話アダプタの取扱説明書を ご参照ください。

同時使用時の注意

 「バージョンアップお知らせ機能」の一部が利用できません
 「050IP 電話」と同時利用する場合、電話機から本商品のバージョンアップ 通知音は聞こえません。
 IP 電話アダプタからのお知らせのみとなります。
 本商品の「アップデート設定」を「定時更新」に設定することをお勧めします。
 (12) p. 161)

●「ひかり電話」と「050IP 電話」の使いわけにご注意ください

「050IP 電話」利用時、「050IP 電話」で接続できない番号(110/119 など) 以外は、すべて「050IP 電話」での発信となります。

「ひかり電話」からの発信をご希望の場合は、相手先電話番号の前に「0000」 をダイヤルして発信してください。その他の「050IP 電話」ご利用上の注意 については、IP 電話アダプタの取扱説明書をご参照ください。

(取扱説明書の「加入電話」と記載されている部分を「ひかり電話」と読み 替えてください。)

●本商品の「UPnP 機能」設定を変更しないでください

本商品の初期設定は「UPnP 機能」を「使用する」になっています。

IP 電話ルータ/IP 電話対応セキュリティルータを利用

IP 電話ルータ (Web Caster V100/V110)、または IP 電話対応セキュリティルー タ (Web Caster X400V) と本商品を、下記のとおり接続した場合のみ動作確認 をしています。それ以外の機器構成でのご利用は推奨しません。



お知らせ

本商品の設定、またはファームウェアのバージョンアップ時には、本商品にパソ コンを接続してください。(①② p.36)

同時使用時の注意

●インターネット接続の設定に注意してください

インターネット接続の設定(プロバイダから提供される接続先ユーザ名・接続パスワードなど)は、IP 電話ルータ/IP 電話対応セキュリティルータに設定してください。本商品には設定しないでください。



IP電話対応セキュリティルータ



- お知らせ
- ・インターネット接続の方法は、IP 電話ルータ/IP 電話対応セキュリティルータ の設定ガイドをご参照ください。

・本商品に接続したパソコンからはインターネットに接続できません。

●「バージョンアップお知らせ機能」の一部が利用できません

「0501P 電話」と同時利用する場合、電話機から本商品のバージョンアップ 通知音は聞こえません。

IP 電話ルータ/IP 電話対応セキュリティルータからのお知らせのみとなり ます。

本商品の「アップデート設定」を「定時更新」に設定することをお勧めします。 (1207 p. 161)

●「ひかり電話」と「050IP 電話」の使いわけにご注意ください

「0501P 電話」利用時、「0501P 電話」で接続できない番号(110/119 など) 以外は、すべて「0501P 電話」での発信となります。

「ひかり電話」からの発信をご希望の場合は、相手先電話番号の前に「0000」 をダイヤルして発信してください。その他の「050IP 電話」ご利用上の注意 については、IP 電話ルータ/IP 電話対応セキュリティルータの取扱説明書を ご参照ください。

(取扱説明書の「加入電話」と記載されている部分を「ひかり電話」と読み 替えてください。)

●本商品の「PPPoE ブリッジ」設定を変更しないでください

本商品の初期設定は「PPPoE ブリッジ」が「使用する」になっています。

8-6-2「フレッツ・セーフティ」との同時利用

「フレッツ・セーフティ」とひかり電話を同時利用する場合、次のように接続 してください。

下記のとおり接続した場合のみ動作確認をしています。それ以外の機器構成で のご利用は推奨しません。

「フレッツ・セーフティ」対応機器

- Web Caster Gatelock X300
- Web Caster Gatelock X200
- Web Caster X310

パソコン





お知らせ

- ・この構成図はWeb Caster X310の場合で記載しております。他の機種をご利用の 場合は「WAN」と書いてあるポートと本商品のLAN ポートを接続してください。
- ・本商品の設定、またはファームウェアのバージョンアップ時には、本商品にパ ソコンを接続してください。((1)で p. 36)
- ・IP 電話対応セキュリティルータ (Web Caster X400V) をご利用の場合は、
 「IP 電話ルータ/IP 電話対応セキュリティルータを利用」 (12) p. 198) に記載されている機器構成で「050IP 電話」がご利用できます。

同時使用時の注意

●インターネット接続の設定に注意してください

インターネット接続の設定(プロバイダから提供される接続先ユーザ名・接続パスワードなど)は、「フレッツ・セーフティ」対応機器に設定してください。本商品には設定しないでください。



- お知らせ
 - ・インターネット接続の方法は、「フレッツ・セーフティ」対応機器の設定ガイ ドをご参照ください。
- ・本商品に接続したパソコンからはインターネットに接続できません。
- ・本商品に接続したパソコンは、「フレッツ・セーフティ」をご契約されていて
 も、ウィルスチェック機能や不正アクセス対策機能を利用できません。

●本商品の「PPPoE ブリッジ」設定を変更しないでください

本商品の初期設定は「PPPoE ブリッジ」が「使用する」になっています。

8-6-3「フレッツの IP-VPN サービス」との同時利用

「フレッツの IP-VPN サービス」では、セキュリティの高い拠点間通信をサー ビスコンセプトとしており、1 台のルータ・パソコンで VPN 接続とインターネッ ト接続を同時に利用しないことを推奨しています。

ひかり電話をご利用の場合は、次のように接続してください。下記のとおり接続した場合のみ動作確認をしています。それ以外の機器構成でのご利用は推奨 しません。

3) お知らせ

「フレッツの IP-VPN サービス」とは、次のサービスの総称です。

- ・フレッツ・グループアクセス
- ・フレッツ・オフィス
- ・フレッツ・アクセスポート



同時使用時の注意

- ●「フレッツの IP-VPN」の接続設定に注意してください ご利用形態により接続先設定の方法が異なります。
 - ・1 台のパソコンで「フレッツの IP-VPN サービス」を利用するとき
 「フレッツの IP-VPN サービス」をご利用いただくパソコンに接続先を設定してください。
 - ・複数台のパソコンで「フレッツの IP-VPN サービス」を利用するとき
 「フレッツの IP-VPN サービス」の接続先を設定したブロードバンドルータを、本商品の下部(LAN ポート)に接続し、そのブロードバンドルータ
 下部(LAN ポート)に「フレッツの IP-VPN サービス」利用のパソコンを 接続してください。

●インターネット接続の設定に注意してください

Web 設定画面から、本商品に接続先を設定してください。 「まるごと設定ツール」を使用してインターネットの接続設定をすると、「フ レッツの IP-VPN サービス」との同時利用ができない場合があります。

●本商品の「PPPoE ブリッジ」設定を変更しないでください 本商品の初期設定は「PPPoE ブリッジ」が「使用する」になっています。

8-6-4「Mフレッツホスト」との同時利用

「Mフレッツホスト」とひかり電話を同時利用する場合、次のように接続して ください。

下記のとおり接続した場合のみ動作確認をしています。それ以外の機器構成で のご利用は推奨しません。

「Mフレッツホスト対応機種」



お知らせ

「Mフレッツホスト」対応機器および接続構成については、以下の URL でご確認 ください。

http://flets.com/mflets/h_setup.html

同時使用時の注意

●インターネット接続の設定に注意してください 必ず本商品にインターネットの接続設定をしてください。

●本商品の「PPPoE ブリッジ」設定を変更しないでください 本商品の初期設定は「PPPoE ブリッジ」が「使用する」になっています。

8-7 用語集

AES (Advanced Encryption Standard)

WPA-PSKで使用する暗号化方式の一つ。AESは、TKIPやWEPと比べてより解読しにくいものになっている。

AH (Authentication Header)

機密性確保が必要とされないIPパケットに対し、送信元の認証と完全性を確保する ためのIPsecで使用するセキュリティプロトコル。AHは、ESPにはないパケット配送 用のIPヘッダを保護できる。

ANY接続拒否

無線LAN端末からのANY接続(どの無線LANアクセスポイントにも接続できる特殊な SSID)を拒否する機能。

bit/s (bps bit per second)

通信速度の単位。秒当たりに伝送されるビット数。

CHAP (Challenge Handshake Authentication Protocol)

PPPで接続の際にユーザを認証するために利用する認証用プロトコル。 PAPと異なり毎回パスワードを元に生成したビット列をネットワーク上でやり取り するため、安全性が高いという特徴がある。RFC1994で仕様が公開されている。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

端末装置に対し、動的にIPアドレスやネットマスクなどのネットワーク構成情報を 割当てるための機能。 (TCP/IPを使用する端末装置は、固有のIPアドレスを持つ必要がある)

DHCPクライアント

DHCPサーバによりIPアドレスを割当てられるシステム。

DHCPサーバ

DHCPを用いてIPアドレスなどの設定を配布・管理するシステム。

DMZ (DeMilitarized Zone)

不正アクセスを防ぐファイアウォールの内側にあり、外部(WAN側)とも内部(LAN側) とも切り離された区域のこと。

DNS (Domain Name System)

IPアドレスではなく、ドメイン名による伝送路選択をする機能。

DNSサーバ

ホスト名とIPアドレスとの対応表を持っており、ホスト名の問い合わせにIPアドレ スを通知するサーバ。 ESP (Encapsulating Security Payload)

IPパケットの機密性の確保と完全性の確保、および送信元の認証を行うためのIPsec で使用するセキュリティプロトコル。

IEEE802.11a

無線LANの規格。

5.2GHzの周波数帯を利用し、伝送速度は最大54Mbps。 IEEE802.11bより大幅に高速になっている。

IEEE802.11b

無線LANの規格。

2.4GHzの周波数帯を利用し、伝送速度は最大で11Mbps。

IEEE802.11g

無線LANの規格。

2.4GHzの周波数帯を利用し、伝送速度は最大で54Mbps。 IEEE802.11aよりも広い範囲で高速な通信ができる。

IP (Internet Protocol)

異なるネットワークの間でパケットの転送を行うための取り決めを表す。 IPアドレスにより相手先を判断する。

IPsec (IP Security)

ホストごとにセキュリティを確保することを目的として、暗号化をIPプロトコルの レベルで行う。

IPアドレス

インターネット接続などのTCP/IPを使ったネットワーク上で、コンピュータなどを 識別するためのアドレス。32bitの値を持ち、8bitずつ10進法で表現した数値を、ピ リオドで区切って表現する。(例:192.168.0.10)

IPマスカレード

NAT (IPアドレス変換)機能の1つ。ポート番号を動的に割当てることにより、1つのWAN 側アドレスに対して複数のLAN側端末を接続することが可能となる機能。

LAN (Local Area Network)

1つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成されている小 規模なコンピュータネットワーク。

LAND攻撃

「送信元と送信先のIPアドレスおよびポート番号がまったく同じ」という、通常あり 得ないIPパケットを攻撃対象のコンピュータへ送る手法。

ホストがそれ自身にパケットを送っているように見えるので、対象システムが応答 しようとしている間、システムは使用不可能になってしまう。

MACアドレス

ネットワーク上で、機器の区別をつけるためにハードウェア(LANカードなど)につけ られた固有のアドレス。利用者が、このアドレスを決めることはできない。

MACアドレスフィルタリング

無線LAN通信においてサーバが通信できるMACアドレスを指定し、通信を受けたくな い無線LAN端末などからの通信を防ぐ機能。

NTP (Network Time Protocol)

ネットワークを介して時刻を調整するプロトコル。

具体的には、クライアントの内部時計を、インターネット上に存在するNTPサーバを 介して時刻を調整する。

PAP (Password Authentication Protocol)

PPPリンクの接続を確立するときに認証するプロトコル。 RFC1334で仕様が公開されている。

PING

端末間の接続が正常に行えるか試験するプログラム。

PPP (Point to Point Protocol)

遠隔地にある2台のコンピュータを接続するためのプロトコル。 アナログ回線やINSネット64回線を使ってインターネットするために使われる。

PPPoE (PPP over Ethernet)

ADSLなどの常時接続型サービスで使用されるユーザ認証技術。 Ethernet上でダイヤルアップ接続(PPP接続)と同じように利用者のユーザー名や パスワードのチェックを行う。

RIP (Routing Information Protocol)

TCP/IPなどによって構成されるネットワークにおいて、動的なルーティング制御を 行うためのプロトコル。

RIPを使用すると、ルータがネットワークの切断(隣接ルータの故障、ケーブルの断 線などを含む)を自動的に検出し、別ルートを通れるようにルーティング情報を更新 できる。

ユーザーが、意識することなく最短ルートでのルーティングが行われる。

SIP (Session Initiation Protocol)

ひかり電話などに用いられる通話制御プロトコル。 RFC3261で仕様が公開されている。

TCP(Transmission Control Protocol)

データの転送を制御するプロトコル。送信先に接続してデータ送信する。 受信側は受け取ったパケットの到達確認を行い、エラーを訂正する機能を持つので、 信頼性の高い通信を実現できる。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

インターネットやLANで一般的に使われているプロトコル。

TKIP (Temporal Key Integrity Protocol)

WPA-PSKで使用する暗号化方式。

TKIPは、WEPでも使用されているRC4という暗号化アルゴリズムを採用している。

UPnP (Universal Plug and Play)

パソコンや周辺機器、AV機器、電話、家電製品などの機器をネットワークを通じて 接続し、相互に機能を提供しあうための技術仕様。

VDSL (Very high-bit-rate Digital Subscriber Line,

またはVery high-speed Digital Subscriber Line)

上り方向と下り方向の通信速度が非対称な高速データ通信。

利用者側は、すでに一般家庭に普及している電話回線を用意するだけでよいが、経路の一部に光ファイバーを利用する。

VoIP (Voice over Internet Protocol)

インターネットやイントラネットのようなIPネットワーク上で音声通話を実現する技術。 社内LANを使った内線電話やインターネット電話などに応用される。

VPN (Virtual Private Network)

インターネットを経由するにもかかわらず、拠点間を相互接続し、安全な通信を可 能にするセキュリティ技術によって構築された、仮想プライベートネットワーク。

WAN (Wide Area Network)

地理的に離れた地点にあるパソコンどうしを電話回線や専用回線で接続し、データ をやりとりするネットワーク。

Webブラウザ

ホームページを見るためのアプリケーション。

WEP (Wired Equivalent Privacy)

ユーザが指定した任意の文字列(WEPキー)を本商品と無線LAN端末に登録することに よって、WEPキーが一致した場合のみ通信できるようになる。 WEP+-

WEPで用いられる秘密の鍵。

送信者と受信者は同じ鍵を登録した上で通信する。

WPA (Wi-Fi Protected Access)

現在無線LANで広く使われている通信暗号化方法「WEP」を置き換える、より強固な 暗号化方法。

WPA-PSK (Wi-Fi Protected Access Pre-Shared Key)

WPAセキュリティ設定の認証方式。

Pre-Shared Key を使うので、認証サーバを用意しなくてもWPAセキュリティ設定を 使用できる。 WPA-PSKには、AESやTKIPなどの暗号化がある。

10BASE-T

Ethernetの通信方式。

10Mbit/sの伝送速度を持つ。ツイストペアケーブルを使用する。

100BASE-TX

Ethernetの通信方式。 100Mbit/sの伝送速度を持つ。

イーサネット (Ethernet)

LANの通信方式。

10BASE-Tや100BASE-TXなどの規格がある。

インフラストラクチャ通信

無線LAN端末から無線LANアクセスポイントを経由して行う無線LANの通信。

クライアント

LANなどを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス(ファイ ル/データベース/メール/プリンタなど)を受けるコンピュータ。

グローバルアドレス

インターネット上の通信相手を特定するのに使用されるIPアドレスの種類の1つ。 このアドレスは、インターネット上で重複することは許されていない。これとは別に プライベートでの使用に限って利用できるプライベートアドレスというものもある。

ゲートウェイ

プロトコルの異なるLAN同士やLANとWANとを接続する装置。

サーバ

LANなどを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス (ファ イル/データベース/メール/プリンタなど)を提供するコンピュータ。 インターネット上では、Webサーバがホームページを提供する。

サブネット

大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の管理単位 となる小さなネットワーク。

IPアドレスは、所属するサブネットのアドレス(ネットワークアドレス)と、サブ ネット内での端末のアドレス(ホストアドレス)から構成されており、ネットワー クアドレスが上位何ビットかをサブネットマスク(ネットマスク)で指定する。

自動設定

本商品は電源投入時にひかり電話網に設置されている自動設定サーバから本商品の 初期設定情報を取得し、初期設定ができる。

自動設定サーバ

本商品の初期設定情報を管理するひかり電話網に設置されたサーバ。

静的IPマスカレード

IPマスカレード使用時に、設定したポート番号の変換を行わないようにして、LAN 側の端末を特定する機能。

ネットワークゲームを行うときなどに使用する。

セッション

ネットワークまたはリモートコンピュータに接続している状態。 例えば、ログインのことを「セッションの開始」といい、ログアウトのことを「セッ ションの終了」ともいい、接続してから切断するまでの状態をいう。

チャネル

無線通信では、使用する周波数帯域を分割して、それぞれの帯域で異なる通信がで きる。チャネルとは、その分割された個々の周波数帯域のこと。

複数の無線LANを狭いエリアで同時使用する場合は、それぞれに異なる周波数を割当 てないと、無線干渉が発生して、通信速度が遅くなる場合がある。

その場合、なるべく各チャネルどうしの帯域が重ならないような使用を推奨する。

ドメイン

「領地」を意味し、ネットワーク関連では各ネットワークにおける、ひとまとまりの 管理単位。

ニーモニック

コンピュータが実行可能な機械語プログラムは数字の羅列として現されるが、これ を人間が理解できるように簡略化した英単語や記号の組み合わせに置き換えたもの のこと。

パスワード

コンピュータ・システムの安全性や信頼性を維持するために利用される、数字や文 字列による符号。

パスワードを設定する際は、名詞や単純な数字、文字は避け、文字、数字、記号を 組み合わせて設定することや、定期的にパスワードを変更することが望ましい。

ひかり電話

NTT東日本/NTT西日本提供のIP電話サービス。

ファームウェア

本商品を動作させるためのソフトウェア。

ファイアウォール

外部からの不正なアクセスを防ぐためのシステム。 LANとインターネットの間で不正なアクセスの検出や遮断を実現している。

プライベートアドレス

プライベートなLANで使用することができるIPアドレスのこと。 プライベートアドレスで直接インターネットに接続することはできない。

プロキシサーバ

各装置からSIPプロトコルメッセージを受け取り、相手先に代理送信することにより 装置間の通話を確立させるサーバ。

プロトコル

通信規約。

システム(コンピュータやネットワーク)同士が正しく通信するための約束ごと。

プロバイダ

インターネットの接続サービスを提供している事業者。

フレッツ・コネクト

Bフレッツ、フレッツ・ADSLをご利用のお客様どうしによる、IP電話などの音声・映像・データによる多彩な通信サービス。

NTT東日本エリア全域のご利用者に提供をしている。

ポート番号

TCP/IPにおいて、ユーザやアプリケーションなどを識別するために利用する番号。

マルチセッション

ネットワークまたはリモートコンピュータに複数接続している状態。

無線LANアクセスポイント

有線LANとインフラストラクチャ通信に設定した無線LAN端末との通信の中継や、無線LAN端末どうしの通信の管理を行う。

無線ネットワーク名(SSID)

無線通信する端末を論理的にグループ分けするための識別子。 単一の無線ネットワークの属する端末には、すべて同じ無線ネットワーク名(SSID) を設定して使用する。SSIDはService Set Identifierの略。

ルータ

複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。

ルーティング

パケットを宛先に届けるための経路を選択する機能。

8-8 索 引

暗号化	195
インターネット	
インターネット接続	129
設 定	118
お問い合わせ窓口	218
各部の名前	
LAN ポー ト,	. 28
VDSL LINE ポート	. 28
壁掛け用フック穴	. 30
初期化スイッチ	. 28
電源端子	. 28
電話機ポート	. 28
無線 LAN カードスロット	. 30
機能詳細ガイド	. 17
故障かなと思ったら	170
周辺環境の確認	. 31
仕 様	216
初期化	193
接 続	. 36
ー般電話と併用	. 39
通常接続	. 37
接続の確認122,	186
設 置	. 33
壁掛け	. 35
縦置き	. 34
設定方法	. 43
電源の入れ直し	194
取扱説明書の読み進めかた	. 16
ネットワーク設定の確認119,	179
バージョンアップお知らせ機能	155
ひかり電話	
一斉着信/着信番号の選択	. 85
サービス	. 49
再起動	117

指定着信機能	105
接続できる番号	. 50
他のサービスとの同時利用	196
着信音の鳴り分け,	. 83
テレビ電話	. 91
電話機で設定	109
内線設定	. 74
ナンバー・ディスプレイ 97,	111
パソコンから設定	. 64
ひかり電話共通設定	. 72
モデムダイヤルイン 94,	115
優先着信	100
割込音通知 89,	113
ひかり電話の使いかた	46
キャッチホン	56
指定着信機能	63
着 信	48
追加番号	61
内 線	53
内線転送	55
ナンバー・ディスプレイ	. 58
発 信	46
発信者番号通知/非通知	. 59
複数チャネル	. 60
保 留	52
優先着信	62
利用時の注意	. 44
ファームウェア	155
Web 設定画面から自動更新	
	161
Web 設定画面から手動更新	
	164
確認	157
電話機からの手動更新	158
更 新155	

ファイルを指定して手動更新	
付属品 23	
本商品の設定123	
無線 LAN130	
SSIDの隠蔽143	
SSID の公開135	
使用時の注意11	
接続の確認133	
パソコンに設定146	
無線 IP 端末の設定191	
無線 LAN カードの取り付け131	
無線 LAN 設定133	
無線 LAN の確認145	
用語集 206	
ランプ	
10/100BASE-T ランプ29	
ACT ランプ 27	
FAIL ランプ 27	
LINK ランプ 29	
PPP ランプ 26	
VDSL ランプ 27	
アラームランプ26	
初期状態ランプ27	
電源ランプ26	
登録ランプ27	
ひかり電話ランプ26	

RV-230SE

項目		仕様
LANポート	ポート数	4ポート
	準拠規格	100BASE-TX/10BASE-T (IEEE802. 3u/IEEE802. 3)
	通信速度	100Mbps/10Mbps
	伝送方式	半二重/全二重
	MDI/MDI-X	自動設定/MD1/MD1-X
	物理インタフェース	RJ-45コネクタ
電話機 インタフェース	ポート数	2ポート
	回線種別	2線式アナログ
	物理インタフェース	RJ-11コネクタ
VDSL LINE ポート	ポート数	1ポート
	VDSL伝送方式	DMT変調/FDD方式
	物理インタフェース	RJ-11コネクタ
電源		外付けAC電源アダプタ方式
外形寸法(mm)(突起部を除く)		約 75 (W) ×175 (D) ×233 (H) (スタンド含む)
質量		約 630g(スタンド含む)
消費電力		24W以下
動作温度		0 ~ 40°C
動作湿度		5 ~ 80% (結露なきこと)
情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI)		クラスB情報技術装置

本商品の OS には米国 Wind River Systems, Inc.の VxWorks を採用しています。

RV-230SE電源アダプタ

項目	仕様
外形寸法(mm)(突起部を除く)	約 60(W)×125(D)×30(H)
質量	約 240g
電源	AC100±10V (50/60±1Hz)
出力電圧	DC12V

8-10 お問い合わせ窓口

お使いのうえでご不明の点がありましたら、下記へお気軽にご相談ください。 お電話番号をお間違えにならないよう、ご注意願います。

●本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ

お問い合わせ先: 0120-710444 (9:00~21:00)

携帯電話・PHS・「0501P 電話」からご利用の場合

:03-5667-7200 (通話料金がかかります)

※年末年始 12月 29日~1月3日は休業とさせていただきます。

●パソコンの接続・設定などに関するお問い合わせ

お問い合わせ先: 0120-275466 (24時間 年中無休)

●故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先: **0120-242751** (24 時間 年中無休) ※故障修理などの対応時間は 9:00~17:00 です。

O NTT

© 2006 NTTEAST 本 2815-2 (2006.11) RV-230SE トリセツ

当社ホームページ : http://www.ntt-east.co.jp/ced

当社ホームページでは、各種商品の最新情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧頂くことを推奨します。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。